

目 次

I. 各担当事業別の実績	1
[総務課 法人運営係]	2
1. 総務担当	2
(1) 法人運営の強化	2
(2) 法人経営の強化	4
(3) 地域における公益的な取り組み	4
(4) 地域福祉活動計画の推進	5
(5) 事務局機能の強化	5
(6) 連絡調整機能の充実・強化	5
(7) 情報発信	5
(8) 自主財源の確保	6
(9) 国分寺市との連携・強化	7
2. 貸付担当	8
(1) 生活福祉資金の相談・貸付・償還	8
(2) 独自事業	9
(3) 他機関・他部署との連携	10
[総務課 総合企画係]	10
1. ボランティア活動センター担当	10
(1) ボランティア・市民活動の推進	10
(2) 広報活動事業(情報収集・発信)	12
(3) 研修・講座等によるボランティア活動の普及・推進	12
(4) 「ここねっと」の啓発・推進	14
(5) 「ひとり暮らし高齢者等地域交流会」の実施	15
(6) 「見守り訪問事業」の実施	16
(7) 「生活応援事業」の実施	16
(8) その他	17
2. 介護支援ボランティア担当	17
3. 災害に備えた取り組み	19

[地域福祉課 地域福祉係] 21

- 1. 地域福祉コーディネーター担当 21
 - (1) 総合相談支援業務 21
 - (2) 継続的・専門的な相談支援事業 21
 - (3) 地域におけるネットワークの構築 23
 - (4) 多機関協働事業等 24
 - (5) 生活困窮者支援等のための地域づくり事業 25
 - (6) 地域福祉コーディネーターの活動内容周知業務 26
 - (7) 研修等の受講 26

[地域福祉課 相談支援係] 27

- 1. 自立支援担当(自立生活サポートセンターこくぶんじ) 27
 - (1) 生活困窮者自立支援事業 27
 - (2) 独自事業 28
 - (3) 他機関・他部署との連携 29
 - (4) 情報提供 29
 - (5) 研修等の受講 30
 - (6) 受験生チャレンジ資金貸付窓口運営事業 30
- 2. 権利擁護担当(権利擁護センターこくぶんじ) 32
 - (1) 福祉サービス総合支援事業 32
 - (2) 成年後見活用あんしん生活創造事業 33
 - (3) 緊急一時事務管理事業 34
 - (4) 地域福祉権利擁護事業 35
 - (5) その他 35

Ⅱ. 関係機関・団体への委員等の派遣 37

- (1) 関係機関・団体への委員等の派遣 38

Ⅲ. 資料 40

- (1) 評議員(第 29 期)名簿 41
- (2) 評議員・選任解任委員会名簿 41
- (3) 役員(第 31 期)名簿 42
- (4) 協力員(第 30 期)名簿 43
- (5) 国分寺市地域福祉活動計画推進・評価委員会 委員名簿 44
- (6) ボランティア活動センター運営委員会 委員名簿 45
- (7) 権利擁護センター運営委員会 委員名簿 45

(8)権利擁護地域連携ネットワーク会議 委員名簿	46
(9)第12期 東京都共同募金会国分寺地区協力会 役員名簿	46
(10)「第12回 社協ふくしのつどい」受賞者名簿	47
【ここねっと推進助成事業 決定一覧】	48
【ボランティア活動センターこくぶんじ登録サロン一覧】	48
【ボランティア活動センター登録団体一覧】	49
【令和7年度 車いすステーション一覧】	51
【令和7年度 ふれあい募金箱設置か所一覧】	52
【自治会・町内会別 協力状況】	53
【歳末たすけあい・地域福祉活動募金実績】	56
【翌年度使用地域福祉活動費(令和8年度使用分)への配分】	57
【赤い羽根共同募金 地区募金実績】	58
【「地区配分(B配分)」(令和7年度申請・8年度使用)について】	59
【「全都配分(A配分)」について】	59
【令和7年度 社協会員会費 実績】	60
【令和7年度 会員加入状況】	61
【年度別会員数および会費状況】	61
【会員会費の動向】	61

I．各担当事業別の実績



[総務課 法人運営係]

1. 総務担当

社会福祉をめぐる社会状況の変化に対応し、本会が求められる役割を担うべく、役職員が一体となり、法人運営の強化を図った。また、内部管理体制の強化に向けた取り組みをすすめた。

(1)法人運営の強化

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 評議員会の開催	(1) 評議員会の開催(2回) *6月27日・8年3月27日	○法令に従い適正に開催した。
2. 三役会・理事会	(1) 三役会の開催(3回) *5月20日・8月26日 8年2月24日 (2) 理事会の開催(5回) *6月9日・6月27日・9月10日 12月9日・8年3月10日	○法令に従い適正に開催した。 ○三役会では、法人運営全般について協議し、また、理事会議案事項の調整を行った。 ○理事・監事、評議員の一斉改選について、定款および法令に沿って適切に候補者を推薦し、決定した。
3. 監査	(1) 監事監査の実施(2回) *5月14日・10月28日	○「監事監査規程」を制定し、監査方法や役割を精査した。

【評議員会 議案・報告事項】

	内容	出席者数
第1回	議案第1号 第31期 理事の選任について 議案第2号 第31期 監事の選任について 議案第3号 令和6年度 事業報告書について 議案第4号 令和6年度 収入支出決算書について 議案第5号 令和7年度 第1回補正予算書について (報告事項) 第29期 評議員について/令和7年度 事務局組織について/第12回 社協ふくしのつどいの開催について/令和7年度 会員会費増強運動について/社協本部事務局について 他	11名
第2回	議案第1号 応急援護資金 権利の放棄について 議案第2号 理事の選任について 議案第3号 令和7年度 第2回補正予算について 議案第4号 令和8年度 事業計画について 議案第5号 令和8年度 資金収支予算について (報告事項) 顧問名誉会長及び相談役について/令和8年度 事務局組織について/第13回 社協ふくしのつどいの開催について/つながる懇談会について/第5期国分寺市地域福祉活動計画の進捗状況について 他	14名

【理事会 議案・報告事項】

	内容	出席者数
第1回	議案第1号 第31期 理事候補者の選任議案について 議案第2号 第31期 監事候補者の選任議案について 議案第3号 第29期 評議員候補者の推薦について 議案第4号 顧問(名誉会長)の選任議案について 議案第5号 相談役の選任議案について 議案第6号 評議員選任・解任委員会の選任議案について 議案第7号 苦情解決第三者委員会委員の選任議案について 議案第8号 評議員選任・解任委員会の開催について 議案第9号 経理規程(第26号)の改正について 議案第10号 令和7年度 第1回評議員会 招集事項の決定および開催について 議案第11号 役員賠償責任保険契約の加入について 議案第12号 令和6年度 事業報告書について 議案第13号 令和6年度 収入支出決算書について 議案第14号 令和7年度 第1回補正予算書について 議案第15号 社協本部事務局について (報告事項) 令和6年度 監査報告/令和6年度 予備費の使用について/第11回 社協ふくしのつどいの開催について/令和7年度 事務局組織について/会長・常務理事職務執行状況報告(令和6年度下半期)について/人材評価について/令和7年度 会員会費増強運動について 他	理事:11名 監事:2名
第2回	議案第1号 役員(会長・副会長・常務理事)の選定について 議案第2号 社協本部事務局について	理事:12名 監事:2名
第3回	議案第1号 社協本部事務局について 議案第2号 応急援護資金貸付事業について 議案第3号 個人情報保護規程(規程第43号)の改正について 議案第4号 育児・介護休業法の改正に伴う対応について (報告事項) 第12回 社協ふくしのつどいの開催報告/赤い羽根共同募金について/会長・局長・事務局長研究協議会の開催について 他	理事:12名 監事:2名
第4回	議案第1号 理事候補者の選定について 議案第2号 就業規則の改正について 議案第3号 嘱託職員就業規則の改正について 議案第4号 事務局職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規程(第28号)の改正について 議案第5号 事務局職員の育児休業等に関する規程(第32号)の改正について (報告事項) 社協本部事務所について/上半期監査報告について/上半期 会長・常務理事職務執行報告について/応急援護資金貸付事業について/経営戦略プロジェクトについて/つながる懇談会について/令和7年度歳末たすけあい・地域福祉活動募金について 他	理事:10名 監事:2名
第5回	議案第1号 理事候補者の選定について 議案第2号 令和7年度 第2回 補正予算について 議案第3号 社協運営基金の取り崩しについて 議案第4号 令和8年度 事業計画について	理事:10名 監事:2名

議案第5号 議案第6号 議案第7号 議案第8号 議案第9号 議案第10号 議案第11号 議案第12号 議案第13号 議案第14号 議案第15号 (報告事項) 経営戦略プロジェクトについて/第5期 国分寺市地域福祉活動計画推進・評価委員会について/令和8年度 会議開催予定/令和8年度 事務局体制について/令和8年度 第13回 社協ふくしのつどいの開催について/つながる懇談会について 他	令和8年度 資金収支予算について 令和7年度 第2回 評議員会について 就業規則について 事務局職員の給与に関する規程(規程第29号)の改正について 事務局に関する規程(規程第33号)の改正について 文書管理規程(規程第38号)の改正について 応急援護資金貸付規程(規程第14号)の改正について ボランティア活動センターこくぶんじ管理運営規程(規程第48号)の改正について ボランティア活動センターこくぶんじ設置規程(規程第47号)の改正について 理事の派遣について 応急援護資金 権利の放棄について 経営戦略プロジェクトについて/第5期 国分寺市地域福祉活動計画推進・評価委員会について/令和8年度 会議開催予定/令和8年度 事務局体制について/令和8年度 第13回 社協ふくしのつどいの開催について/つながる懇談会について 他	
---	--	--

(2)法人経営の強化

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 適正な財務管理	(1) 経費の節減 (2) 運営基金の適正な管理 *社協運営基金 *地域福祉推進基金 (3) 税務顧問の設置	○ サーバーでデータ管理し、経費節減を行った。 ○ 運営基金について経営戦略プロジェクトで検討を行った。

(3)地域における公益的な取り組み

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 国分寺市社会福祉法人連絡会	(1) 役員会の開催(3回) (2) 総会(1回) (3) 地域公益活動の実施 ①「福祉のしごと相談・面接会」 開催(9月20日) 出展法人:9法人 ②「フードドライブ」の実施 期間:8年2月2日~16日 協力法人:7法人(7事業所) 実績:54.7kg ③ 災害に関する取り組み 北多摩西部ブロックボランティア担当者会議で行われた災害研修に参加(2法人3名) ④ 車いすステーションへの協力	○ 連絡会の事務局機能を担った。 ○ 総会では、地域福祉コーディネーター担当を交えて地域連携に関しての意見交換会を実施した。 ○ 「福祉のしごと相談・面接会」を法人連絡会単独主催で開催。福祉の仕事への理解を広げ、就職につなげる場とした。 ○ 社会福祉だより「ふくし」(1月15日)で、フードドライブの実施と併せて法人連絡会会員の紹介とPRを実施した。 ○ 地域公益活動の一環として、社協の実施する車いすステーションへの協力を呼び掛けた。
2. その他	(1) 社会福祉士取得コースにおける実習生(ソーシャルワーク実習)の受入れ	○ 4学校、5名の学生を受け入れた。

(4)地域福祉活動計画の推進

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 地域福祉活動計画推進・評価	(1) 第5期国分寺市地域福祉活動計画推進・評価委員会の開催 *実施日:8年3月6日	○ 評価・推進にあたり、幅広い世代の声を取り入れるため東京学芸大学の学生がオブザーバーとして参加した。

(5)事務局機能の強化

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 事務局機能の強化	(1) 事務局組織の円滑な運営 *管理職会議の開催(月1回) *正規職員会議の開催(年6回) *職員プロジェクトの設置 (2) 人材評価の実施	○ 法人運営・法人経営や業務実施における進捗状況などの課題を共有し、課題解決に向けて取り組んだ。 ○ 各担当業務の進捗状況や課題等の共有を行い、課題解決に向けて、横断的な連携を図った。 ○ 人材評価の導入により、職員の意識が高まった。
2. 苦情解決システムの構築	(1) 苦情解決第三者委員会(1回) *実施日:9月12日 (2) 第三者委員 *奥水 香氏・若島 礼子氏	○ 本会に対する苦情はなかったが、各事業に対する市民からのご意見を第三者委員へ報告、助言をいただき、本会が提供する福祉サービスの質の向上、取り組みに繋がった。

(6)連絡調整機能の充実・強化

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 自治会・町内会連絡会の開催	(1) 自治会・町内会連絡会(市共催) 第1回:5月22日、24日 第2回:10月25日 内 容:防災安全課 出前講座および情報交換会 テーマ:「災害時の三層の活動体制～地域ごとの拠点を市内全域に～」	○ 参加しやすい環境づくりのため、オンラインとのハイブリッド方式で開催した。 ○ 出前講座後、会場参加の自治会・町内会で主に防災についての情報交換を行い、自治会同士のつながりを促進した。
2. 地域懇談会の開催	(1) つながる懇談会(4回) ① 7月17日 @なみき牧場 ② 7月19日 @にわには ③ 8年2月3日 @リオンホール ④ 8年2月14日@福祉センター	○ 幅広く市民や関係機関等に参加を呼びかけ、参加者とともに地域課題やその解決のためにできることについて話し合った。 ○ 「第5期地域福祉活動計画」の周知啓発を図った。

(7)情報発信

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 情報発信	(1) 社会福祉だより「ふくし」の発行 *発行:2回(6月15日・8年1月15日) *発行部数:72,200部 (2) SNSの活用	○ 全戸配布の他、公共施設・関係機関等へ配架し、本会が取り組む事業を市民および関係機関等に幅広く周知し、地域福祉への参画を呼びかけた。

2. ふくしのつどい の実施	(1)「第12回 社協ふくしのつどい」 *開催日:8月9日 *場所:いずみホール *来場者:109 名 (内容) *第一部:記念式典 *第二部:「講演&パネルトーク」 *講師:誠子さん(フリー芸人) *パネルトーク:～自分にできる地域とのつながり～ *登壇者:誠子さん、永井千春さん(ぶんじ食堂プロジェクト)、鈴木雅之さん(鈴木農場)	○ 地域の発展に功績のあった方々に感謝を伝えるとともに、社協の周知と誰もが安心して暮らせるまちづくりへの参加と理解を深めていただく機会となった。
3. マスコットキャラクターの活用	(1) マスコットキャラクター「ふくすけ」 *グッズの作成(缶バッジ、ノート)	○ 社会福祉だより「ふくし」をはじめ、リーフレットやチラシなどでマスコットキャラクターを活用し、事業の周知を図った。

(8)自主財源の確保

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 会員会費増強運動	(1) 強化月間:7月1日～31 日 *会費実績総額:4,634,828 円 *会員数合計:11,652 人(寄付者含む)	○ 団体の定例会参加や企業訪問、郵送等で積極的に協力を呼びかけた。 ○ 口座振替やクレジットカード決済を活用し、利便性を図った。 ○ 団体会員数は増加したが、会費金額は減少。全体的には減少傾向。
2. 自主財源の確保	(1) ふれあい募金箱 *実績:166,487 円(44 か所分)	○ 年度末時点の募金箱設置場所は 50 か所。次年度は他部署職員の協力を得て、新規設置場所の拡大と地域とのつながりづくりを図る。
	(2) 社会貢献型自動販売機(4か所) *実績:455,039 円	○ 前年度から減額となった。次年度増設をめざしたい。
	(3) 有料広告の掲載 *掲載:社会福祉だより「ふくし」	○ 広告代理店経由での広告募集を継続して行った。
	(4) 使用済み切手・インクカートリッジ・書き損じはがき・CD/DVD・古本等	○ 社会福祉だより「ふくし」等で広報を行い、市民に協力を呼びかけた。
3. 募金事業	(1) 歳末たすけあい運動 *実施期間:12 月1日～31 日 *募金実績:3,983,673 円 【街頭募金】 *実施日:12 月1日 *場所:国分寺駅構内 *募金額:38,621 円	○ 1か月間 Web から納入できるキャンペーンを実施した。 ○ 国分寺市薬剤師会、国分寺市商店会連合会、国分寺青年会議所、市内企業等を通じて募金箱を設置。
	(2) 赤い羽根共同募金運動 *実施期間:10 月1日～3月 31 日 *募金実績:3,443,837 円	○ 地区協力会で承認された事業計画・予算に沿って運動を実施。 ○ 自治会・町内会をはじめ、市内小中学校、市内で活動している団体や

	【街頭募金】 ①地区協力会、前年度受配団体等 ＊実施日:10月1日 ＊場所:国分寺駅構内 ＊募金額:95,847円 ②国分寺市学童少年軟式野球連盟 ＊実施日:10月25日 ＊場所:国分寺駅・西国分寺駅・国立駅北口 ＊募金額:471,688円 【国分寺地区協力会の運営】 ①理事・監事会の開催(2回) ＊開催日:8月25日 8年1月27日 ②配分推せん委員会の開催(1回) ＊開催日:8年1月27日	福祉関係施設に協力依頼。 ○地域配分(B配分)(令和7年度申請・8年度使用分)について、募集および受付を実施。 ○配分推せん委員会で配分推せん決定された内容について東京都共同募金会に推せんし、承認された。 ○自治会・町内会による募金協力は減額となったが、市立小・中学校および市内私立学校による協力(街頭募金4校)や企業・団体による協力は増加し、全体的な募金額は昨年と比べ、大幅な減少はなかった。
4. その他	(1)「国分寺まつり」への参加(11月2日) (2)「本町南町防災・防犯と桜まつり」への参加(8年3月29日)	○キャラメルポップコーンの販売や、ガチャガチャを設置するなど、社協のPR活動を行った。 ○災害対応自動販売機(災害ベンダー)の周知を図り、地域住民との交流や防災意識向上に努めた。

(9)国分寺市との連携・強化

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 国分寺市との連携	(1) 地域共生推進課との連携 (2) 国分寺市敬老会の開催 実施日:9月15日 ＊長寿祝い品の贈呈 ＊表敬訪問の実施(9月6日)	○地域課題を共有し、課題解決に向けて継続的に協議した。

(コラム「職員プロジェクト」「地区担当制度」)

課題別に「職員プロジェクト」を設置し、社協全体で課題解決に取り組みました。また、全職員を対象に、市内を東西2地区に分けた「地区担当制度」を設け、「つながる懇談会」の実施や地域のおまつり等に参加するなど、住民の皆さんとの交流を深めた。

プロジェクト名	主な内容
ふくしのつどい	「第12回ふくしのつどい」の企画検討・実施
つながる懇談会	東西で各2回開催
国分寺市地域福祉活動計画推進・評価委員会	「第5期国分寺市地域福祉活動計画」の推進、評価に関する検討。「地域福祉活動計画推進・評価委員会」の開催
災害	「職員行動マニュアル」「災害ボランティアセンター運営マニュアル」の改正、「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」の実施、「防災フェスタ」への参加
広報・ふくすけ	社会福祉だより「ふくし」編集・発行、マスコットキャラクター「ふくすけ」の活用検討、SNSの活用など

2. 貸付担当

低所得者世帯、障害者や高齢者世帯に対し、資金の貸付とあわせて世帯へ継続的な相談支援を行い、経済的自立や社会参加の促進を図ることを目的とした「生活福祉資金貸付制度」を実施した。

また、他部署や民生委員等各関係機関と連携し、制度理解の促進や生活困窮者への支援の強化を図った。

(1) 生活福祉資金の相談・貸付・償還(東京都社会福祉協議会委託事業)

低所得者世帯、障害者や高齢者世帯に対し、資金の貸付とあわせて世帯への継続的な相談支援を行い、経済的自立や社会参加の促進を図ることを目的とした「生活福祉資金貸付制度」を実施した。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年3月 25 日から令和4年9月 30 日の間に実施した、特例貸付(緊急小口資金・総合支援資金)の借受人に対し、フォローアップ支援事業(償還猶予や少額返済等に関する相談支援)を実施した。

項目	事業実績	事業効果・評価等
1. 生活福祉資金貸付制度の受付業務	(1) 相談件数:753 件 決定件数:2件 (2) 貸付相談に対し、貸付に寄らない支援も視野に入れ、必要に応じて就労支援や家計改善支援等へつないだ	○ 相談件数は前年度に比べると9%減(表1-1参照)ではあるが、引き続き新型コロナ特例貸付における償還等の支援に力を入れた。 ○ コロナ禍を経てより課題が複合化する世帯からの貸付相談に対し、適切な生活課題等のアセスメントを行い、貸付に寄らない支援の必要性も視野に入れ支援を行った。
2. 特例貸付借受人へのフォローアップ支援(緊急小口資金・総合支援資金)	(1) 緊急小口資金が償還期限後の債権のうち償還実績がない借受人に対し訪問によるフォローアップ支援を実施 【対象件数】 260件 【郵送(不達)件数】 137件 訪問に伴い架電する旨事前に案内文を送付しそのうち半分以上が不達 【訪問件数】 89件 このほか架電による情報提供で完結したケースも34件あった (2) 償還困難者に対し、償還猶予や少額返済の説明を行うとともに、必要に応じて各関係機関へつないだ	○ 東社協からの督促に加えて本会からも借受人へプッシュ型の支援を行うことで、支援を必要としている方へのアウトリーチにつながった。 ○ 訪問することで直接顔を見ながら相談を受けることができ信頼関係の構築や適切な支援につなげることができた。 ○ 償還に関することだけではなく、就労支援や債務に関する相談等借受人世帯の経済的自立や社会参加の促進を図った。
3. 広報・普及啓発活動	(1) 広報関係 ・ 社会福祉だより「ふくし」(6月15日) ・ ホームページへの掲載 (2) 民生委員との連携 民生委員・児童委員協議会定例会に定期的に参加し情報共有を行った (3) 関係機関への事業説明の実施 市役所庁内各課、地域包括支援セン	○ 民生委員・児童委員協議会定例会に定期的に出席することで、顔が見え相談しやすい関係性を築くことができ、また制度の普及啓発にもつながった。 ○ 関係機関と顔の見える関係になり、互いに連携しやすい関係をつくることができた。

	ター(こいがくぼ・ひよし) (4)出張相談の実施 個別相談会(主:権利擁護センターこくぶんじ)への出張	○ 他部署と連携し出張相談を行ったことで、相談者がより相談しやすい環境をつくること ができた。
--	---	--

○相談件数: 753 件(前年度比 9%減) 表1-1

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
借入相談	272	176	255
償還相談	300	655	498
計	572	831	753

※1 生活福祉資金全ての資金種類での相談

※2 郵送、関係機関等本人以外からの相談は除く

※3 償還相談:償還や債権管理に関する相談(郵送含む)

○貸付決定件数・金額

表 1-2

資金種類		決定件数(件)	決定金額(円)
福祉資金		0	0
教育支援資金		2	2,726,000
緊急小口資金		0	0
総合支援資金	住宅入居費	0	0
	生活支援費	0	0
	一時生活再建費	0	0
臨時特例つなぎ資金		0	0
			貸付限度額(円)
不動産担保型生活資金		0	0

(2)独自事業

本会独自の貸付事業として、他制度からの借入が困難である生活困窮者を対象に、生計を立てるために必要な緊急の生活費「応急援護資金」(上限50,000円)、および生活保護申請者の保護費が支給される間の生活費「要保護世帯向け応急援護資金」(上限10,000円)の無利子の貸付を行った。

また、住所不定者等に対し、交通費等の貸付「緊急援護費」(上限500円)を行った。

項目	内容	事業効果・評価等
1. 応急援護資金貸付事業	(1) 相談件数: 21件 (関係機関等からの相談も含む) 貸付件数: 0件 償還金額: 15,000 円 (2) 本事業の見直しを行い、市による財源負担をなくし、徴収不能債権の整理、財源の返還を行った。	○ 世帯の経済的安定を図るため、継続的な相談支援や、関係機関との情報共有を行った。 ○ 自立支援担当と日々連携し、就労支援やフードドライブ等の必要な支援につなげた。 ○ 令和8年度以降は自主財源のみの運用とし、自立支援担当と引き続き連携しながら継続していく予定。
2. 緊急援護費等貸付事業	(1) 相談件数: 10 件 貸付件数: 3 件 貸付金額: 1,500 円 償還金額: 500 円	○ 自立支援担当と日々連携し、就労支援やフードドライブ等の必要な支援につなげた。

(3)他機関・他部署との連携

項目	内容	事業効果・評価等
1. 自立生活サポートセンターこくぶんじ(自立相談支援機関)との連携	(1) 積極的に情報共有し、必要に応じて自立支援担当への相談につなげた。 (2) 担当者会議を実施(年6回) (3) 新型コロナ特例貸付におけるフォローアップ支援(償還猶予期間中の借受人や、償還困難者世帯への相談支援等)の連携を行った。	○ 定期的に会議を開催しケースの共有を行うことで、理解増進に努め、相談者への適切な支援や情報共有を行うことができた。 ○ 個々のケースに応じて必要な支援(就労支援や家計改善支援等)へつなぎ、借受人世帯の経済的自立を図った。
2. 北多摩西部ブロック生活福祉資金担当者会議への出席	(1) 北多摩西部ブロック社協生活福祉資金担当者会議の開催 実施日:8年3月7日	○ 北多摩西部ブロック社協の生活福祉資金担当者間で情報共有を行い、現状の課題を把握するとともに、今後の事業内容の検討を行った。

[総務課 総合企画係]

1. ボランティア活動センター担当

(事業の目的)

ボランティア活動や市民活動・まちづくりに関する総合の相談窓口、情報の発信、活動の拠点などさまざまな機能があり、ボランティアをしたい人(団体)と、してほしい人(団体)のコーディネートを行う。市民、特に若い世代のボランティアや地域活動の増加を目指し、ボラセン機能の周知し活用いただくことで市民活動や地域活動の活性化を図る。

(1) ボランティア・市民活動の推進

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 「ボランティア活動センターこくぶんじ」の運営	(1) 「ボランティア活動センターこくぶんじ運営委員会」の開催(年7回) (2) 第11回 国分寺の未来を考えるシンポジウムの開催 開催日:8年2月1日 会 場:リオンホール 来場数:82 名 (3) ボランティア活動の相談・コーディネートの実施 *施設・団体:57件 (継続8件、単発49件) *個人:22 件※見守り・相談のみも含む(継続10件、単発12件) (4) 「ここねっとサポーター制度」設置 *登録者:547名(新規82名)	○ 運営委員会の開催及びシンポジウムの実施により、ボランティア活動に対する理解促進とボランティア活動センターの周知につながった。 ○ アドバイザーの設置により、専門的助言や運営体制の強化につながった。 ○ ボランティア調整においては、施設・団体へのコーディネート件数およびイベントボランティアの相談が増加し、調整機能の認知拡大とニーズの多様化が進んだ。
2. 「団体登録制度」の	(1) 団体登録制度を実施	○ 登録団体同士の相互の情報

実施	新規登録:7団体 (2)「登録団体連絡会」を開催 第1回:7月10日 参加団体:30団体(31名) 第2回:8年1月22日 参加団体:21団体(24名) 会場:リオンホール (3)いきいきふれあいサロン活動・立ち上げ支援	交換や協力・連携の促進を目的として取り組みを行ったが、参加人数は減少しており、参加促進に向けた工夫が課題となっている。
3.「ここねっと推進助成事業」の実施	(1)「歳末たすけあい・地域福祉活動募金」の翌年度使用分を財源とし、助成金事業を実施した。前期と後期に分けて募集を行い、説明会および審査会を行った。 【受付期間】 前期:7年3月10日～4月11日 後期:8月1日～8月29日 【助成金審査会】※会場はVC会議室 前期:4月25日 後期:9月12日 【助成団体数】 日常活動費:7件(275,000円) イベント費:9件(339,000円) 立上げ費:2件(51,000円)	○ 団体の活動の活性化および取り組みの推進につながった。 ○ 審査会および利用団体からの意見を踏まえ、要項の見直しを行った。 ○ 要項の見直しを図ることで利用促進につながり、より多くの団体が活用できる環境の整備を進めた。
4. 貸出事業	(1) 会議室の貸出 ボランティア・市民活動支援の一環として、登録団体、会員会費の協力自治会・町内会や老人クラブ、社協団体会員等を対象に会議室の無料貸出を行った。 年間延べ貸出件数:621件 (内訳) 登録団体:359件 福祉関係団体:15件 社協関係:247件 (2) 地域ふれあい活動備品の貸出 地域ふれあい活動備品を貸し出し、ボランティア・市民活動支援の一環として、会員会費の協力自治会・町内会や老人クラブ、登録団体、社協団体会員等を対象に備品等の無料貸出を実施。なお、上記対象団体以外利用は有料。 貸出件数:97件(無料:78件 有料:19件) 貸出機材・備品個数:1,980個 (3)「車いす貸出事業」の実施 怪我や病気、介護保険の申請前等、車いすの必要な方に貸出期間	○ コミュニティスペースとして、活動や交流の場の提供につながった。 ○ 地域活動やイベントに必要な機材・備品の貸出を行い、地域イベントにおいて活用されることで、内容の充実に寄与した。 ○ 令和7年度より、従来無料で利用していた登録団体についても、無料貸出にあたっては、社協団体会員としての協力を要件とするよう制度の見直しを行った。 ○ 貸出期間を見直した結果、返却の確認と車いすの在庫状況の把握が容易になり、より多くの個別の希望(車いす

	最長1か月間無料で貸出を実施。 貸出件数127件(VC:50件 社協事務局:77件) (4) 車いすステーション設置 貸出期間:最長2週間 料金:無料 協力件数:47件(新規2件) 貸出件数:411件	の種別等)に沿うことができた。
5. 貸出用車いすの整備	(1)「車いす整備ボランティア」により定期的(月2回)点検・整備を行った。(全23回)	○ 返却後の車いすを次の貸し出しにむけて、点検・清掃ができた。
6. ボランティア保険等の加入受付	(1) ボランティア保険の受付業務を行った(前年度より333人減少。下記参照※)。 (2) 東京都社会福祉協議会の行事保険受付業務を行った。 *行事保険受付件数 153件 *当日参加対応型 行事保険受付件数 39件	○ ボランティア保険の加入を促すことで、活動中の事故等への備えが強化され、安心して参加できる環境づくりにつながった。

※(1)-6-(1)【ボランティア保険プラン別加入状況】

(人)

基本コース			天災コース			加入者総数
Aプラン	Bプラン	Cプラン	Aプラン	Bプラン	Cプラン	
2,074	60	4	2,257	18	1	4,414

(2)広報活動事業(情報収集・発信)

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. ボランティア・市民活動の情報提供	(1)「ボランティア活動センターこくぶんじ」のPR強化 ・ 社会福祉だより「ふくし」内のページを活用し、「ボランティア活動センターこくぶんじだより」を発行(年2回) ・ ボラセンの公式ホームページの運営 ・ 隔週でメルマガの配信(隔週)	○ ボランティア・市民活動の情報提供を行った。 ○ SNS を通じて随時情報発信を行い、ボランティアの募集やボラセン事業等の情報提供を行った。 ○ メルマガ登録者数が増え、(3月末登録者数546名)定期的な情報発信を行うことができた。
2. ロゴマークの活用	(1) 広報物には「ロゴマーク」の活用し、広報活動を実施した。	○ 積極的に活用し、ボラセンの広報活動の充実を図った。

(3)研修・講座等によるボランティア活動の普及・推進

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 体験ボランティア事業の実施	(1)「2025 夏体験ボランティア」の実施(7月～8月) 学生を中心に、夏休み等を利用してボランティア学習や活動体験の機会を提供した。	○ 初めての試みとして説明会前に、申込者に YouTube 配信による『夏体験ボランティア説明』の確認を依頼した。参加者は一定の事業へ

	体験期間:7月22日～8月31日 活動場所:市内の高齢者・障害者・児童関係施設やボランティア・市民活動団体、NPO法人等 参加者:101名(延べ268名) 活動プログラム:63件(参加があったのは51件) 【参加者説明会】 開催日:7月6日(66名参加) ※随時個別に対応(40名参加) 受入施設:52件 ※受入施設説明会(ハイブリッド開催)を6月5日・6日に実施し、22名が参加 【振り返り交流会】 開催日:8月29日(26名参加) (2)「ふくし体験プログラム」の実施 市内の小中学校の総合学習の一環として、また、自治会・企業等の福祉の理解を深めることを目的に、ボランティアや市民活動団体等と協働し実施した。	の理解を持った上で説明会への参加につながった。 ○ 小・中・高校生から60代の多世代に参加いただき、地域社会や福祉への理解を深め、地域とのつながりを広げる機会となった。 ○ 10年ぶりに振り返り交流会を開催し、情報交換やグループワークを通じて、自身の活動を振り返り、共有する機会を設けることができた。 ○ 依頼が少なかった中学校からの利用や、小学校においても教員の意向に応じたプログラム提供を行うなど、柔軟な対応によりニーズ即した実施につながった。
2.「ボランティア講座」の開催	(1) 地域とつながるはじめての一步ボランティア入門講座 開催日:6月30日 会場:リオンホール 参加:28名 (2) ふくし体験プログラムサポートボランティア講座 開催日:7月24日 会場:VC2階 会議室 参加:6名 (3) はじめての災害ボランティア講座 開催日:8年3月7日 会場:VC2階 会議室 参加:24名	○ 新規のボランティアの加入者を迎えることができ、ボラセンの事業の周知にもつながった。 ○ 講座受講後すぐに、実際のふくし体験プログラムでのボランティア活動の実践へとつながった。 ○ 座学、体験談共有と合わせて災害ボランティアセンターの一連の流れを体験する機会を設けた。災害ボランティアについて知る・活動を始めるきっかけにつながった。

※(3)-1-(2)「ふくし体験プログラム」実施一覧表

No.	学 校	学年	実施日	校時	分野	内 容
1	第一小学校	3	9月18日	2～4	障害	車いす体験
2			10月28日	3～4	障害	視覚障害者の話・ガイドヘルプ
3		4	8年3月16日	6	障害	オストメイトの話
4	第二小学校	4	10月1日	3		ボランティア活動について
5			10月21日	3～4	地域	ゲストティーチャー
6		3	8年2月19日	3～4	障害	聴覚障害者の話・手話体験
7	第三小学校	4	6月5日	3～4	障害	聴覚障害者の話・手話体験
8		3	6月25日	2～4	障害	視覚障害者の話・点字体験
9	第四小学校	4	9月22日	2～4	障害	車いす体験
10			9月26日	3～4	障害	車いす体験

11	第五小学校	4	8年2月10日	2～3	障害	視覚障害者の話・ガイドヘルプ
12	第六小学校	4	8年2月17日	5	障害	車いす体験
13		4	8年2月18日	5	障害	車いす体験
14		4	8年2月19日	5～6	障害	車いす体験
15		4	8年2月26日	3～4	障害	聴覚障害者の話・手話体験
16	第九小学校	3	10月23日	3～4	障害	聴覚障害者の話・手話体験
17		4	12月9日	2～3	障害	視覚障害者の話・点字体験
18	第四中学校	全	12月6日	2～3	災害	災害時のクロスロードゲーム

協力：特定非営利活動法人 視覚障がい者ネットワークコトリナ、手話サークル国分寺、けやきの会、点字あゆみの会、当事者（視覚障害者）、地域の方、ボランティア活動センターこくぶんじ登録団体

(4)「ここねっと」の啓発・推進

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 「地域支え合い活動（見守り・声かけ活動）」の推進	(1) 黄色の腕章の貸出を行った。	○ 地域に対し周知および必要な手続きの対応など行うことで、地域における自主的な活動の推進につながった。

①連絡調整活動・ボランティア関係連絡会・研修会等への参加（オンラインでの参加含む）

研修会名等	日程
国分寺障害者団体連絡協議会受託事業委員会	4月10日、5月12日、6月30日、7月18日、8月8日、9月12日、10月10日、8年1月30日、3月13日
区市町村ボランティア・市民活動推進団体事務局連絡会議	7月22日、10月17日
区市町村災害時ボランティア担当者会議	8年2月24日
「夏の体験ボランティア」情報交換会	4月18日、10月17日
【都内社協職員連絡会】R7年度災害対策検討部会 研修会	11月13日
国分寺市小中学校長会	5月1日
もとまち公民館運営サポート会議	5月21日、7月23日、9月17日、11月19日、8年3月25日
東京都災害 VC アクションプラン推進会議	7月24日
北多摩西部ブロックボランティア担当職員連絡会	5月20日、8月5日、12月2日、8年3月3日
国分寺市公民館運営審議会	7月25日、10月10日、11月21日、8年1月23日
五中学区地域懇談会（国分寺市青少年育成北地区委員会主催）「地域の安全・安心を考える会」（二中）	6月16日、8年3月6日
本多地域会議	6月20日、8月29日、10月15日、12月11日
東京学芸大学「ボランティア・学校インターンシップ説明会」	4月16日
防災講演会「やさしいにほんごで防災力アップ」	9月29日
地域福祉推進協議会	7月2日、8年1月26日
ぶんぶんウォーク 2025 実行委員会・事前準備	7月22日、10月30日
国分寺市生活支援隊・介護予防応援隊養成研修	8年2月13日、16日
東京経済大学インターンシップ成果報告会	11月19日
第二中学校1年生「国分寺調査」対応	11月28日
民生委員・児童委員および地域福祉コーディネーター地区懇談会	8年1月30日
第三小学校入学説明会（腕章活動説明）	8年1月28日

人生100年活躍ナビ説明会@zoom	8年3月8日
国分寺市子どもの居場所づくり関係者懇談会	7月9日、11月12日
提案型協働事業の説明会	4月16日
本多連合町会	4月23日
国分寺障害者団体連絡協議会 バスハイク	5月24日
社会を明るくする運動 推進委員会 ※社会を明るくする運動 ひまわりコンサート	7月8日、11月4日、8年2月10日 ※8月3日、8年1月24日、
防災関係機関担当者会議	5月26日、6月16日

②イベント等への参加

イベント名	内容	日程
国分寺障害者団体連絡協議会 バスハイク	しながわ水族館・羽田空港	5月24日
国分寺障害者団体連絡協議会 運動会	お楽しみ運動会	10月4日
ぶんぶんウォーク2025	ワークショップ(書道・ポップコーン)	11月22日

(5)「ひとり暮らし高齢者等地域交流会」の実施

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
①「ひとり暮らし高齢者等地域交流会」の実施	(1) 市内10か所で実施 各会においては年5～8回開催し、食事会や茶話会、レクリエーション等を取り入れて実施した。 (2) 地域交流会連絡員会議の開催 4月および8年3月に開催し、4月には実施に向けた注意事項の共有、8年3月には7年度の活動報告を行った。また、11月には今後の地域交流会に関する意見交換会を実施した。	○ 食事会や茶話会、レクリエーション等を通じて参加者同士の交流促進と地域のつながりづくりが図られた。 ○ レクリエーションでは新たなイベントボランティアの参入により活動内容の充実につながった。 ○ 現状と課題の把握に加え、次年度以降に向けた各会の考えを把握することができ、今後の方向性の検討を資する機会となった。

※令和7年度 地域交流会地区別実施回数・参加人数

地域交流会名	地 区	実施回数 (回)	参加者 (人)	ボランティア (人)	その他 (人)	合 計 (人)
さ つ き 会	東元町・南町	6	127	92	6	225
あ ず ま 会	本町・本多	8	144	104	45	293
こいがくぼ会	東恋ヶ窪1～3丁目	5	13	16	0	29
きたこい会	東恋ヶ窪4～6丁目	4	27	20	12	59
い ず み 会	西元町・西恋ヶ窪・泉町	8	152	63	19	234
むらさき会	戸倉	5	116	53	8	177
す み れ 会	日吉町・内藤	6	60	45	49	154
さ さ の 会	東戸倉	8	65	34	10	109
たちばな会	新町・並木町・北町	6	87	52	6	145
ふれあい会	富士本・光町・高木町・西町	6	41	106	29	176
合 計		62	832	585	184	1,601

(6)「見守り訪問事業」の実施

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 「見守り訪問事業」の実施	(1) ひとり暮らしの高齢者や日中独居の方、その他高齢者に限らず見守りを必要とする方のご自宅を、見守りサポーター(ボランティア)が訪問した。 ・利用者数:27 名(年度途中中止者含む) ・年度末利用登録者数:20 名 ・訪問活動を行ったボランティア数:23 名 ・年間延べ訪問回数:361 回 ・新規相談件数:12 件(6件訪問決定)	○ 居宅介護支援事業所や、地域包括からの依頼を受けるケースもあり、関係各所との連携を図ることにつながった。年齢によらず、話し相手等を必要とされている方への支援につながった。 ○ 見守り訪問を希望されている方に対し訪問活動を希望されるボランティアの数が足りない側面は、解消されていないので、ボランティアの登録者を増員することが望まれる。

(7)「生活応援事業」の実施

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 生活応援事業の実施(自立支援担当との協働事業)	(1) 食料無料配付・生活相談会の実施 ・ 7月から8年3月まで計9回、食品の無料配付と自立支援担当による暮らしの相談を行った。 ※協力ボランティア:延べ 67 名 (2) 寄付金協力:41,403 円 (3) フードドライブの実施 家庭などで余った食品を寄付いただき、必要な方や地域の団体へお渡しした。 ・ フードドライブ - 寄付総重量 2790.4kg - 配付総重量 2714.79kg ・ 「にしこく秋フェス」への協力 nonowa 西国分寺主催のイベント内でフードドライブと事業の生活応援事業の PR を実施。 協力:東京経済大学経済学部／Unlimited 所属の大学生	○ さらなる市民への周知で新規利用 43 件につながった。 ○ 生活改善に向けて、職員が生活状況の聞き取りを行ったあと食品をお渡しした。 ○ さまざまな施設・団体と連携を図りながら事業を実施することができた。

協力(順不同):市民の皆さん、生活協同組合パルシステム東京 府中センター、コープ国分寺内藤店、深田記念館 国分寺教会、いなげや国分寺東恋ヶ窪店、ina21 国分寺西恋ヶ窪店、JR 西国分寺駅、ALSOK 株式会社、東京経済大学、日産自動車株式会社、社会福祉法人愛宕福祉会キャリー保育園、コープみらい地域クラブ 府中ピックアップ、café.tamaya 一般社団法人 国分寺青年会議所、国分寺障害者施設お仕事ネットワーク、NTT 東日本-南関東、国分寺市社会福祉法人連絡会

(8)その他

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 学生ボランティア等支援	(1) 早稲田実業学校(中等部1年生)への支援 ・ ボランティア講演会(6月9日) 講師:枝見太朗氏(VC運営委員長) ・ 総合的な学習の時間の一環で行われたボランティア活動先3件のコーディネートを実施した (活動日:7月11日・12日) (2) 東京経済大学 地域インターンシップの受け入れ(8~9月の5日間) 受入れ人数:2名 (3) お仕事体験(四中)受け入れ(7月の3日間) 受入れ人数:2名 (4) 国分寺市立第二中学校の受け入れ(11月28日) 受入れ人数:4名	○ 学校や生徒・学生とのつながりを進め、連携を図ることで、相互に協力できる関係の構築につながった。 ○ 学生の受け入れを行うことにより、社協の機能や存在について知ってもらうとともに、地域の支え合いやつながりづくりについて考える機会を提供した。
2. 「国分寺障害者団体連絡協議会企画実行委員会」への参加	(1) バスハイク(5月24日) 職員1名が参加。2名のボランティア調整を行った。 (2) お楽しみ運動会(10月4日) 職員1名が参加。	○ 支援者やボランティアとの関わりを通して、相互理解や関係を深めることができた。
3. 通年受付の自宅でできるボランティアの実施	(1) 不要になった本・CD・DVD・ブルーレイ等の回収 (2) ウェス作成の呼びかけと受取り	○ 市内外の個人及び企業からウェスの寄付を受け、必要とする市内高齢者施設などへお渡しし、ご利用いただいた。

2. 介護支援ボランティア担当(国分寺市元気高齢者地域活躍推進事業) (国分寺市委託)

高齢者が、ボランティア活動を通して地域貢献することを推奨・支援し、高齢者自身の社会参加活動を通じた介護予防の実現、生きがいの促進を目的として実施する。

事業内容	事業実績	事業評価・効果等			
1. 介護支援ボランティア事業の実施	(1) 説明会・6 回実施	○ 説明会を通じて、登録者数を拡大することができ、一定の効果がみられた。一方で、全 10 回実施する予定であったが、4回は参加者がなく未実施となった。今後の開催については、回数や時期の再検討を行うとともに、説明会と合わせて、関心を高めるオプション企画を併せて実施するなど、運営上の			
	開催日		参加者	登録数	場所
	4月 11 日		3名	3名	福祉 C
	6月 13 日		8名	7名	福祉 C
	7月 11 日		1名	1名	VC
	8月8日		1名	1名	福祉 C
	9月 24 日		47 名	8名	リオンホール
	11 月 26 日		1名	1名	VC
	合計		61 名	21 名	
	※9月 24 日は講演会と同時開催				

	(2) 出張説明会・4回実施 <table><tr><th>開催日</th><th>参加者</th><th>更新</th><th>場所</th></tr><tr><td>4月4日</td><td>10名</td><td>8名</td><td>エクセルシオール西国分寺(えびろん隊)</td></tr><tr><td>4月17日</td><td>7名</td><td>7名</td><td>本多公民館(マジックサークル)</td></tr><tr><td>5月31日</td><td>4名</td><td>0名</td><td>ニチイホーム国立(こじかクラブ)</td></tr><tr><td>6月12日</td><td>2名</td><td>0名</td><td>都営住宅集会室(健康マージャン)</td></tr><tr><td>合計</td><td>23名</td><td>15名</td><td></td></tr></table> ➤ 年間新規登録者数:34名 登録者総数:118名 ➤ 活動回数(延べ):2,025回 ➤ 換金希望者:50名 換金額合計:143,900円 (3) 講演会の実施 開催日:9月24日 場所:リオンホール 講師:田嶋 久子氏(脚本家・インプロバイザー) テーマ:「人生を活性化させるヒント」 参加者:47名 新規登録者:8名 (4) 交流会の実施 開催日:8年3月9日 場所:リオンホール 参加者:23名 (5) 高齢福祉課との会議 実施回数:2回 開催日:10月16日、8年2月27日	開催日	参加者	更新	場所	4月4日	10名	8名	エクセルシオール西国分寺(えびろん隊)	4月17日	7名	7名	本多公民館(マジックサークル)	5月31日	4名	0名	ニチイホーム国立(こじかクラブ)	6月12日	2名	0名	都営住宅集会室(健康マージャン)	合計	23名	15名		工夫を行っていく。 ○ 前年度に比べて登録者、活動件数ともに増加している。引き続き、安心して活動いただけるようなサポートを行っていく。 ○ 登録者に対し、活動先や活動内容に関する希望・疑問の聞き取りを行い、受入施設との個別調整を実施することで、実際の活動につながった。 ○ 講師に「ちびまる子ちゃん」の脚本等で知名度のある田嶋氏をお招きしたことで、若年の方の参加を得ることができた。参加型のワークショップでも好評を得た。 ○ ボランティア登録者の年度更新とポイント換金手続きにあわせて、登録者同士の交流を図ることを目的に、初めて実施した。情報交換により、他の方の活動の把握や相互の刺激につながる機会となった。 ○ 半期ごとの実績や進捗状況および課題等の共有、確認を行い、共通認識を図ることができた。
開催日	参加者	更新	場所																							
4月4日	10名	8名	エクセルシオール西国分寺(えびろん隊)																							
4月17日	7名	7名	本多公民館(マジックサークル)																							
5月31日	4名	0名	ニチイホーム国立(こじかクラブ)																							
6月12日	2名	0名	都営住宅集会室(健康マージャン)																							
合計	23名	15名																								
2. 施設・ボランティアの相談受付	(1)介護支援ボランティアおよび受け入れ施設等からの電話相談、窓口での相談を随時行った。	○ 受入施設との連携を図りながら、安心した活動環境の整備に努めた。今後も活動希望者の紹介時には、電話および訪問による丁寧な説明を継続し、関係機関との連携を強化していく。																								
3. 受入先の確保	(1) 登録施設数:36件 実受入れ施設数:15件	○ 受入れ施設は2件増加した。活動者不在の登録施設に対しても活動者を紹介できるよう、引き続き連携強化・工夫に努める。																								

3. 災害に備えた取り組み(※災害プロジェクトと連携して実施)

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 関係団体との連携	(1)「災害時における協力に関する協定」に基づく連携 ・国分寺青年会議所との定例会議 開催日:12月11日、8年2月12日 (2)市担当課との情報共有 (3)「北多摩西部ブロック災害ボランティアセンター相互援助協定」に基づく連携 ・担当者会議への参加 ・合同研修会の開催 「被災の経験と備えから考える障がいのある人の支援」 開催日:12月2日 会場:くにたち福祉会館他 参加者:47名 内容:講演及びクロストーク、図上訓練	○関係機関等と災害時の取り組みの共有や、情報交換を通じて平時からの連携強化が図れた。 ○被災者の困りごとに寄り添い、ニーズとして受け入れ、コーディネートしていくことを共有した。また、色々な良い事例、良い取り組みをブロック内で共有し、持続可能な防災、減災の取り組みに繋げていく。
2. 災害に備えた準備	(1)「災害ボランティアセンター運営マニュアル」の再検討 (2)職員「災害研修」の実施 実施日:11月15日 場所:国分寺市民スポーツセンター	○災害ボランティアセンター設置に先立ち、職員初動対応マニュアルの実効性を検証し、初動体制や情報共有、関係機関連携における課題を整理した。
3. 災害ボランティアセンター	(1)「災害支援ボランティア登録制度」の設置・講座の開催 (2)「はじめての災害ボランティア講座」の開催(再掲) 講座の開催の実施に向け、関係機関等と検討を行った。 (3)「災害ボランティアセンター」資機材の整備 職員「災害研修」を通し、資機材の確認および動作確認を行った。	○市の担当課との定期的な情報共有等により、令和8年度実施予定の「災害ボランティアコーディネーター養成講座」や登録制度を進めていく際の連携を図っていく。 ○劣化した備品の交換を行い、倉庫内の整備につながった。 ○引き続き定期的な点検、備品の整備、動作確認等を行っていく。

(コラム「第11回 国分寺の未来を考えるシンポジウムを開催しました」)

令和8年2月1日に、ボランティア活動センターこくぶんじ運営委員会の企画・運営により、「災害時も平時も『やさしい日本語』で伝えよう・つながろう」をテーマにしたシンポジウムを開催しました。当日は定員 80 名を超える来場があり、関心の高さが伺えました。

第1部は村田陽次さんによる「みんながつながる『やさしい日本語』」の講演が行われ、やさしい日本語の基本について学びました。来場者からは「やさしい日本語は、外国の方だけのものではないことを知った」「伝えようとする気持ち、思いやりの心が大切だと感じた」といった感想が寄せられました。

第2部では、国分寺市国際協会(KIA)会長で東京経済大学教授の小田登志子さん、外国にルーツのある方3名にご登壇いただき、パネルディスカッションを行いました。「外国籍の方の日常生活での困りごとを知ることができた」「交流の大切さを実感した」など、多くの気づきが共有されました。

今回のシンポジウムを通じて、「やさしい日本語」は特別なものではなく、誰もが安心してつながるための大切な手段であることが改めて認識されました。今後もボランティア活動センターこくぶんじでは、やさしい日本語を意識しながら、地域の皆さんとつながりを進めていきたいと思います。



【地域福祉課 地域福祉係】

1. 地域福祉コーディネーター担当

(事業の目的)

地域におけるあらゆる相談に幅広く対応するほか、どこに相談したらよいか分かりにくい相談を受け止め対応をし、必要に応じて適切な支援関係機関につなぎ支援を実施する。

また、市および関係機関やボランティア等と連携・協力しながら、個別支援・地域支援を一体的に支援する。(重層的支援体制整備事業 国分寺市委託事業)

(1) 総合相談支援業務

(2) 継続的・専門的な相談支援業務

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 総合相談	(1) 総合相談の実施 ＊個別支援 相談件数 ・継続相談件数:40 件 (東区域:23 件、西区域:17 件) ・新規相談件数:198 件 (東区域:98 件、西区域:100 件) ＊地域支援 相談件数 ・継続相談件数:31 件 (東区域:12 件、西区域:19 件) ・新規相談件数:136 件 (東区域:69 件、西区域:67 件)	○ 前年比として個別支援新規相談件数は 132%、地域支援新規相談件数は 115%と、いずれも増加した。
2. 福祉の総合相談窓口	(1) 市役所2階地域共生推進課窓口 (2) 出張福祉の総合相談窓口 ＊個別支援 新規件数:70 件 市役所:42 件 出張窓口(※):4件 その他:24 件 ＊地域支援 新規相談件数:4件 市役所:3件 出張窓口(※):0件 その他:1件 ※なみき牧場(第1月曜日) にわには(第4木曜日)	○ 前年比として 132%と増加した。

【個別支援】

①新規相談件数

区域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
東	5	7	6	16	10	8	7	6	10	5	6	12	98
西	10	10	9	11	8	11	10	7	5	6	10	3	100
合計	15	17	15	27	18	19	17	13	15	11	16	15	198

②相談経路

区域	本人	親族	友人・知人	行政（福祉）	行政（福祉以外）	社会福祉協議会	地域包括支援センター	居宅介護支援事業所	障害者支援機関	医療機関	民生委員・児童委員	自治会・町内会	近隣住民	その他	合計
東	45	9	0	4	3	8	2	1	2	3	2	4	9	6	98
西	45	19	2	3	2	10	5	1	0	1	2	1	7	2	100
合計	90	28	2	7	5	18	7	2	2	4	4	5	16	8	198

③相談方法

区域	電話	来所	訪問	メール	立ち話	その他	合計
東	52	29	1	7	6	3	98
西	66	19	0	7	3	5	100
合計	118	48	1	14	9	8	198

④相談内容及び背景にある課題

区域	病気・けが	身体障害（疑い含む）	知的障害（疑い含む）	精神障害（疑い含む）	外国籍	自殺企図	虐待	家庭での養育困難	不登校	非行	家庭内暴力	家族が不仲	認知症	在宅介護が困難	ひきこもり	孤立	ニート	就労不安定	借金・多重債務	経済的困難	親の年金頼みで子が無職	住まい不安定	近隣住民とのトラブル	その他	合計
東	28	7	3	29	1	0	3	1	2	0	10	18	8	11	13	41	1	6	5	26	1	3	21	114	352
西	24	7	8	26	1	1	4	0	2	0	3	8	10	6	14	12	1	9	2	14	2	5	10	124	293
合計	52	14	11	55	2	1	7	1	4	0	13	26	18	17	27	53	2	15	7	40	3	8	31	238	645

⑤複合的な課題を抱えた相談件数:169件(東区域:85 件、西区域:84 件)

⑥連携先

区域	（福祉）行政	（福祉以外）行政	社会福祉協議会	生活困窮	介護	障害	子ども・子育て	保健医療	雇用	権利擁護	地域	商工関係	その他	合計
東	44	14	18	25	36	13	9	28	4	7	13	1	21	233
西	52	20	32	17	39	18	1	27	3	10	25	2	30	276
合計	96	34	50	42	75	31	10	55	7	17	38	3	51	509

【地域支援】

①新規相談件数

区域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
東	10	9	12	9	5	2	4	5	3	5	2	3	69
西	10	7	12	12	5	4	6	1	3	4	1	2	67
合計	20	16	24	21	10	6	10	6	6	9	3	5	136

②連携先

区域	(福祉行政)	(福祉行政以外)	社会福祉協議会	介護	障害	子ども・子育て	保健医療	地域	その他	合計
東	12	15	32	27	10	3	4	56	37	196
西	25	13	41	37	3	13	17	67	43	259
合計	37	28	73	64	13	16	21	123	80	455

(3)地域におけるネットワークの構築

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 他分野との連携	(1) 教育分野の支援関係機関との連携 *コミュニティスクール(CS)への参画 ・ CS 協議会・学校支援コーディネーター打ち合わせ等参加回数:10回 ・ 小・中連携教育勉強会 開催日:5月14日 会場:国分寺市立第十小学校 ・ CS フォーラム 開催日:11月5日 会場:国分寺市立第七小学校 ・ 第十小学校 CS まつり 開催日:8年3月7日 会場:国分寺市立第十小学校 *不登校支援懇談会への支援 開催日:8年2月15日 会場:本多公民館ホール 参加者:56名 *子ども若者計画課主催「家族セミナー・個別相談会」への協力 開催日:9月6日 会場:本多公民館 (2) 動物・環境分野の支援関係機関と連携 ・ 環境対策課との懇談会を開催 開催日:4月4日、8月22日、8年2月20日 会場:市役所	○ 学校運営に協力するとともに、学校、CS 委員及び学校支援コーディネーターとの関係性を構築した。 ○ 不登校の子どもやその親のサポートができる居場所づくりに向けた体制を構築した。 ○ 植栽や動物・ペットに関する相談への対応に関する情報交換を行い、ネットワークを構築した。

2. コーディネーター連絡会	(1) コーディネーター連絡会の開催 開催日:10月30日 場所:リオンホール 参加者:21名 テーマ:国分寺市の重層的支援体制整備事業について～支援会議の取組状況～	○ 支援会議の周知の強化や行政・支援関係機関との連携強化を図ることができた。
3. 民生委員・児童委員との懇談会	(1) 民生委員・児童委員と顔の見える関係をつくり、連携強化を図る。 開催日:8年1月30日 場所:リオンホール 参加者:46名	○ 民生委員・児童委員の一斉改選に伴い、新任民生委員・児童委員との顔合わせや互いの役割を確認することができた。
4. 既存の会議体や地域活動への参加	(1) さまざまな関係機関の会議や地域活動等に参加し、ネットワークづくりと、地域状況やニーズを把握する。 *包括もともち圏域:40回 *包括こいがくぼ圏域:35回 *包括ほんだ圏域:42回 *包括ひよし圏域:28回 *包括ひかり圏域:57回 *包括なみき圏域:29回 *全域:105回 *内部連携会議:72回 *担当者会議:12回	○ さまざまな関係機関の会議や地域活動等に参加し、ネットワークづくりと、地域状況やニーズを把握した。
5. 社会資源の把握	(1) 各部署と連携して、社会資源の把握を行う。地域アセスメントシートを作成し、スーパービジョンを通じて年2回の見直しや振り返りを行った。	○ 地域アセスメントシートをもとに計画的な地域支援を展開することができた。
6. つながる懇談会への参加	(1) 地域住民や関係機関等が集まるつながる懇談会へ参加する。 参加回数:4回	○ 地域福祉コーディネーターのネットワークを生かして参加者を募ることができ、次年度のつながる懇談会の開催に向けて参加者のニーズを把握することができた。

(4)多機関協働事業等

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 多機関協働事業等	(1) 支援会議への参加 参加回数:5回(検討件数8件) (2) 重層的支援会議の開催 複雑化・複合化した支援ニーズがある事例について支援プランの策定を行う 開催回数:1回(検討件数:2件)	○ 関係機関と情報の把握共有することで、現状の把握と今後の対応について検討した。 ○ 関係機関との連携や状況把握をし、進行管理をすることで、対象者への関わり方を整理することができた。 ○ 複雑化・複合化した支援ニーズがある事例について、支援プランを2件策定することができた。

2. アウトリーチ等を通じた継続的支援事業	(1) 支援関係機関等との連携や地域住民とのつながりを構築し、複雑化・複合化した課題を抱えながらも支援が届いていない人を把握する。地域住民や支援関係機関から相談を受け、課題を抱えながらも支援が届いていない人へ訪問等を行った。	○ 相談者からの相談を待つだけではなく、訪問等を行い、対象者にアプローチすることができた。
3. 参加支援	(1) 本人のニーズを把握し、既存の社会資源に働きかけ、本人のニーズや状態にあった社会参加を支援する。 * 武蔵野の公園パートナーズとボランティアの活用に係る打合せを行う。 開催日:5月7日 場所:都立武蔵国分寺公園 支援プラン:2件 * 自立生活サポートセンターとの連携 (1)を自立生活サポートセンターと連携して取り組んだ。 * 社会福祉法人連絡会との連携・強化 開催日:5月26日 場所:福祉センター	○ 自立生活サポートセンターと連携して社会参加できる場を確保することができた。 ○ 社会福祉法人連絡会に参加し、現状や課題を把握することができた。

(5)生活困窮者支援等のための地域づくり事業

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 重層的支援体制整備事業講演会	(1) 市民・支援関係機関等へ重層的支援事業の周知を行う。 開催日:12月21日 場所:リオンホール 参加者:54名 テーマ:私たちがでつくる居場所 ～国分寺の居場所のいま～	○ 市民・支援関係機関へ本事業と本事業に係る地域活動団体の周知を行うことができた。 ○ 地域活動団体同士の連携を深めることができた。
2. 団体支援	(1) 地域団体への立ち上げ、運営支援等の必要な支援を行う。 * ひとつの会居場所づくり ・活動回数:6回 * ぽかぽかてらす(ひきこもり当事者会) ・活動回数:12回 * おひさまてらす(ひきこもり家族会) ・活動回数:24回 * ぶんぶんモルック ・活動回数:10回 * わくわく子ども食堂 ・活動回数:28回 * ひなたぼっこ西町 ・活動回数:6回 ※主な支援例となる。	○ 団体のニーズや状況に応じて、活動場所探しや、助成金の申請等のサポートを行った。

(6)地域福祉コーディネーターの活動内容周知業務

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 公民館まつりへの参加	(1) ほんだ公民館まつりへの参加 開催日:5月 17 日・18 日 (2) ひかり公民館まつりへの参加 開催日:10 月 18 日・19 日	○ 販促品の販売を通じて本事業の周知を行うことができた。 また、参加を通じて地域活動団体との連携を図ることができた。
2. 関係機関への事業説明	(1) 各関係機関事務所に出席、事業説明を行う。 実施回数:6回[市役所内各課、地域包括支援センター(こいがくぼ・ひよし・ひかり)、子ども家庭センター、国分寺障害者団体連絡協議会]	○ 本事業の理解を深め、包括的な支援体制の構築につなげた。
3. SNS、広報紙およびチラシ等にて周知	(1) SNS の活用 *Instagram 投稿件数:105 回 *Facebook 投稿件数:105 回 (2) パンフレットや広報紙による周知 ・ パンフレットの配布 ・ 市報(10/15 発行)の折り込み (3) 福祉の総合相談窓口(丸っとふくまど)の周知。地域のイベントへ参加する。 参加回数:7回(にわには文化祭、戸倉自治会盆踊り大会、本町・南町八幡神社例大祭、坂の上のひとつイベント、子どもまつり、ふらっとけやき公園、なみき牧場一周年イベント)	○ SNS や広報紙等を使用して地域福祉コーディネーターの支援内容や役割等を発信した。 ○ 住民が参加をするイベントで福祉の総合相談窓口(丸っとふくまど)を周知した。 ○ 福祉の総合相談窓口(丸っとふくまど)へ相談しやすくするために総合学院テクノスカレッジと連携し、丸っとふくまどキャラクターの4コママンガ等を制作した。

(7)研修等の受講

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. スーパービジョンの実施	(1) スーパーバイザー(SV)の配置 SV:武蔵野大学 熊田博喜教授 (2) スーパービジョンの実施(年5回) コーディネーター連絡会や重層的支援体制整備事業講演会、地域アセスメントについて助言を受ける。	○ 地域アセスメントを振り返ることで地域支援の対応力を強化することができた。 ○ 重層的支援体制整備事業の動向を踏まえたコーディネーター連絡会や重層的支援体制整備事業講演会を実施することができた。
2. 研修等への参加	(1) 業務を遂行するための各種研修や地域ごとに開催される勉強会等に参加した。 *参加回数:18 回	○ 専門職としての知識や情報を取得し、専門性の向上を図った。

【地域福祉課 相談支援係】

1. 自立支援担当(自立生活サポートセンターこくぶんじ)

失業や離職、病気などさまざまな経済的問題とあわせて、生活していく上での問題などを抱えた市民を対象に総合相談窓口として「自立生活サポートセンターこくぶんじ」を設置し運営した。

(1) 生活困窮者自立支援事業(国分寺市委託事業)

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 自立相談支援事業(必須)	(1) 自立相談支援事業の実施 新規相談件数:441件 プラン策定数:205 件 プラン策定者のうち、就労支援対象者数:55 件 就労決定者数:21 人 延べ支援件数:8,661 件 (2) 出張相談の実施 ・家族セミナー・個別相談会(主催:子ども若者計画課) ・ふくしのお仕事相談会(主催:社会福祉法人連絡会) ・個別相談会(主催:権利擁護センターこくぶんじ)	○さまざまな課題を抱えた相談者に対して、専門の相談員が個別支援計画(プラン)を策定し、相談者に寄り添った支援を実施した。 ○新規相談件数と延べ支援件数は前年度比 116%、プラン策定数は同比 112%といずれも増加し、目標値(新規相談件数 410 件、プラン策定件数 160 件)を大幅に超えた。 ○貸付担当が実施したコロナ特例フォローアップ支援事業による訪問事業に同行しアウトリーチを行った。 ○アウトリーチの一環として他部署や他機関が主催する相談会等に参加することで、幅広く相談を受ける体制づくりと連携構築を図った。
2. 住居確保給付金(必須)	(1) 家賃助成 新規相談者数: 69 件 新規申請件数: 12件 延長申請件数: 6件 再延長申請件数: 3件 (2) 転宅費助成 新規相談者数:24 件 新規申請件数: 1件	○離職等による住宅喪失者又は住居を失う恐れのある方に対し、家賃相当の住居確保給付金を支給した。 ○住居確保給付金の申請をきっかけに、就労支援や困りごとの相談を行い、生活の安定が図られた。 ○転宅費助成(新規事業)の相談はあるが要件合致に至らず申請件数は 1 件に留まった。
3. 就労準備支援事業(任意)	(1) 就労準備支援事業の実施 プログラム作成件数:6件 (2) プログラムの開催 ・ちよいジョブ(軽作業) 参加延べ人数:85人 ・運動プログラム 参加延べ人数:23 人 ・コミュニケーションプログラム 参加延べ人数:23 人 ・その他イベント等 参加延べ人数:2人	○ひきこもりや傷病等により、長期間働けていない相談者に対して個別にプログラムを作成し、個別相談や就労体験(ちよいジョブ)等を実施し、支援した。運動プログラムは、都立武蔵国分寺公園でボランティアを実施した。 ○所管課と協議の上、特定被保護者(生活保護受給者)の受入れを試行的に実施した。
4. 家計改善支援事業(任意)	(1) 家計改善支援事業の実施 プラン作成件数:25 件	○家計の見直しを行い、家計状況の改善を通じて生活の安定が図られた。 ○弁護士事務所や医療・福祉関係機

		関等と連携して支援を行った。 ○貸付担当と常時情報共有を行い、連携して支援を行った。 ○所管課と協議の上、特定被保護者（生活保護受給者）の受入れを試行的に実施した。
5. 子どもの学習・生活支援事業（任意）	(1) 無料学習塾の実施 【場所】戸倉、本町、西町 【対象】小学3年生から中学3年生（通塾者で高校に進学後も利用継続の場合は高校生も対象） 【事業利用者数】51名 (2) 運営担当者会議の開催(11回) (3) 周知啓発 ・ボランティア講師への事業説明（計4回） ・特別支援研究会	○事業利用者数は増加し目標値(45人)を超えた。 ○学習支援を通じ、学習習慣の習得や社会的な居場所づくりを行った。西町教室は場所を変更し実施した。 ○親との定期面談を通じて世帯全体の支援を行った。利用できる制度の紹介を行い、進学等の支援を行った。 ○担当者会議を通じて関係機関と事業の運営について検討し、事業を円滑に実施した。 ○ボランティア講師に制度や事業の説明を行うことで連携強化とボランティアの資質向上に努めた。 ○第四小学校の特別支援研究会で教職員やSSWに対し事業説明や事例を報告し理解促進に努めた。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
新規相談件数	332件	379件	441件
プラン策定件数	141件	183件	205件
プラン策定者のうち就労支援対象者数	52件	53件	55件
就労決定者数	36人	27人	21人
就労準備支援事業 プラン作成件数(延べ参加人数)	－	6件(77人)	6件(133人)
住居確保給付金 新規申請件数	9件	12件	12件
延長申請件数	5件	4件	6件
再延長申請件数	6件	0件	3件
家計改善支援事業 プラン作成件数	18件	22件	25件
子どもの学習・生活支援事業 事業利用者数	41人	42人	51人

(2)独自事業

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 特別診療券	(1) 特別診療券の発行 延べ発行枚数:3枚 利用実人数:2名	○ 特別診療券を利用して受診することにより、就労の継続や健康の改善、生活の安定が図られた。
2. 食料支援	(1) 食品の無料配付・暮らしの相談（生活応援事業）の実施(9回) （ボランティア活動センターこくぶんじとの共催） 新規受付件数:43件	○ フードドライブを活用し、生活を立て直すまでの間の食料支援を行った。 ○ アウトリーチの一環として食料支援を実施し、相談に繋がりにくい世帯のフォローに努めた。

	(2) 市内のパン屋(キニヨン)の協力の下、無料学習塾利用者に廃棄予定パンの無料提供を行った。	○ パンの提供を通じて、子どもの生活支援を行った。 ○ 府中フードパントリーの見学体験を行い食品配付会のあり方を再検討した。
--	---	---

(3) 他機関・他部署との連携

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 国分寺市との連携	(1) 支援調整会議の開催(12回) (2) 生活困窮者自立相談支援事業連絡会(庁内連絡会)および進行管理部会の参加(3回) (3) 就労支援地域連絡会の参加(2回) (4) 子ども若者支援地域ネットワーク会議の参加(4回) (5) 無料学習塾担当者会議(2回)	○ 支援調整会議を通じてプラン案の適切性や運営方針について協議した。 ○ 庁内連絡会に参加し相談傾向や事業実績について報告することで適切な運営に繋がった。また個別ケースへの対応だけでなく地域課題の抽出に繋がった。 ○ 各種会議への参加等を通じ、庁内各課との連携を強化することができた。
2. 生活保護受給者等就労自立促進事業	(1) ハローワーク立川への支援要請支援要請利用者のプラン策定件数:10件 (2) 連絡会の開催(1回) (3) 巡回相談の実施(7回/10件) (4) 協議会への参加(1回)	○ 支援要請を行うことにより、ハローワークとより連携を密にして就労支援を行うことができた。 ○ ハローワークの就労支援ナビゲーターによる巡回相談を原則毎月実施し、支援要請を行う機会の提供に努めた。
3. 重層的支援体制整備事業に関する取組み	(1) 参加支援の実施 都立武蔵国分寺公園のボランティア活動(再掲) 参加者延べ23名 (2) 支援会議への参加(2回) (3) ぽかてらへの参加(11回) (4) 丸っとふくまどへの参加(13回)	○ 武蔵野の公園パートナーズや地域福祉コーディネーターと協働し参加支援の一環を担った。 ○ 支援会議への参加を通じて、他機関との情報共有や支援方針の検討を行い、効果的に支援を行うことができた。
4. その他	(1) 権利擁護支援検討会議への参加(1回) (2) 生活困窮者自立支援制度東京都・市部第4ブロック会議 (3) 国分寺地区児童委員、児童相談所、学校等の関係機関及び子ども家庭支援センター等による地区連絡協議会 (4) 地域精神保健医療福祉連携会議 (5) コーディネーター連絡会民生委員児童委員との懇談会 (6) つながる懇談会 (7) 貸付担当との定例会議(6回)	○ 近隣他市や関係機関と情報交換し日頃の取り組みの振り返りや地域課題の共有、新たな情報収集を行った。 ○ 貸付担当と定例で会議を開催しケースの共有を行うことで理解増進に努め、相談者への適切な対応や情報提供を心掛けた。

(4) 情報提供

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 関係機関への事業説明	(1) 事業の周知啓発 市役所庁内各課、令和7年度ブラッシ	○ 社協全体で事業説明を行い相互理解を深めることができた。

	ユアアップ研修(基幹相談支援センター)、地域包括支援センター(こいがくぼ・ひよし・ひかり)、子ども家庭支援センター、国分寺障害者団体連絡協議会	○ 関係機関と顔の見える関係になり、互いに連携しやすい関係を作ることができた。
2. 市民への啓発	(1) 事業の周知啓発 リーフレットやチラシ、国分寺市報、社会福祉だより「ふくし」(10月15日特別号)、ホームページ(当会および所管課)、SNS等を活用し、広報を行った。	○ さまざまな手段で広報を行うことにより、幅広い市民の方に事業内容の普及啓発を行うことができた。

(5) 研修等の受講

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 研修等の受講	受講回数: 34 回 【研修内容の例】 生活困窮者自立支援制度人材養成研修、事業従事者向け研修(基礎・課題別)、生活困窮者自立支援全国研究交流大会、子どもの学習・生活支援事業従事者研修、精神保健福祉研修、広域連携事業多摩地域研修会 など	○ 研修を受講することにより知識・技術の向上につながり、より専門性をもって相談支援を行うことができた。

(6) 受験生チャレンジ支援貸付窓口運営事業(国分寺市委託事業)

一定所得以下の世帯を対象に、学習塾等の費用および高校や大学の受験料の無利子の貸付である「受験生チャレンジ支援貸付」を実施した(高校や大学等に入学した場合は返済免除となる)。

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 受験生チャレンジ支援貸付事業の受付業務	(1) 相談件数: 527 件 決定件数: 88 件 * 中3塾: 24 件 受験: 22 件 * 高3塾: 19 件 受験: 23 件	○ 相談件数は前年度比 114%、決定件数は同比 127%といずれも増加し、目標件数(75 件)も達成した。 ○ 内部進学者の増加や受験システムの多様化が目立った。
2. 広報・普及啓発活動	(1) 広報関係 社会福祉だより「ふくし」(10月15日特別号)やホームページ等への掲載を行った。 (2) 関係機関への周知 自治会・町内会連絡会や校長会(6月19日)にて事業説明を行った。	○ 新たにデジタルサイネージによる広報を行い多くの市民に情報が届くよう工夫した。 ○ 所管課の協力により就学援助制度利用世帯に直接案内を送付できたことが件数増加の一助となった。 ○ 事業説明を行ったことで、事業の周知、理解を図るとともに、顔の見える関係性づくりにつながった。

○相談件数: 527 件(前年度比 114%)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
申請相談	470	460	527
償還相談	99	65	83
計	569	525	610

※1 架電、関係機関等からの相談は除く ※2 償還相談: 前年度貸付決定者からの償還免除相談

○貸付決定件数

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学習塾受講料	34	32	43
受験料	38	40	45
計	72	72	88

(コラム「公園(運動)プログラム」)



- ➡武蔵国分寺公園の協力で新たに始めた就労準備支援事業の「公園(運動)プログラム」。
花壇の除草など季節に合わせたプログラムを考えてくれます。

(コラム「ボランティア講師への事業説明」)



- ➡無料学習塾のボランティア講師向けに行った事業説明。計4回開催し多くの方が参加してくれました。

2. 権利擁護担当(権利擁護センターこくぶんじ)

認知症になっても障害があっても、誰もが地域で安心して暮らし続けられる、支え合い助け合う地域を目指す総合的な相談窓口として、「権利擁護センターこくぶんじ」を設置し運営した。

また、その運営に関しては第三者の立場から事業、運営方針、取組状況等について助言・指導を受けるため、専門職や福祉関係者、市民等で構成する運営委員会を設置した。

(1) 福祉サービス総合支援事業(国分寺市委託事業)

高齢者や障害者が住み慣れた地域で安心して生活できるように支援する総合的な相談窓口として、福祉サービスの利用に係る相談業務及び判断能力の不十分な人の権利擁護に係る相談業務を行った。

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 相談支援事業	(1) 総合相談:15,753件 (2) ふくし法律相談(年12回):32件 (3) 苦情相談:13件(延べ117回)	○ 総合相談件数は前年度比 100.3%(前年度 15,259 件)となり、微増している。 ○ 相談の約 44%が認知症高齢者の案件で、次いで 34%が精神障害者の案件である。前年に比べ精神障害者の相談が増加傾向にある。 ○ ふくし法律相談では成年後見制度だけではなく相続・遺言・死後事務・身元保証等新たな権利擁護支援の一環として幅広く相談対応を行った。そのため2か月先まで予約が埋まるほど盛況だった。
2. 苦情対応窓口の設置	(1) 福祉サービスの利用に関する苦情等に専門的な見地から対応するため、弁護士・医師・保護司で構成される苦情等解決委員会を設置した。また相談対応を報告するため委員会を開催した(5月22日)。 (2) 苦情相談に対し、苦情等解決委員会に助言を仰ぎ、職員が一定の調整を図った。 ・ 苦情相談:13件(延べ117回)	○ 苦情相談の件数は平年並みだが、相談者や関係者との連絡調整等に頻回な対応を要したが、解決のため丁寧な対応を行った。 ○ 当センターの苦情相談対象者は介護保険制度に関するものを除くとしているが介護保険制度に関する相談も38%の相談がある。事業所や実施者へ苦情を直接相談しにくい方の話を傾聴し、課題整理を行った。
3. 顧問弁護士の設置	(1) 権利擁護支援のアドバイザーとして顧問弁護士を置いた。	
4. 広報活動	(1) ホームページ上での適宜の情報発信、パンフレットや通信等の作成や配架を行った。 (2) 関係機関や団体向けに事業説明を行った。また講座や研修の講師等を務めた。 ・ 事業説明:市職員(2回)、基幹相談支援センター、包括支援センター(3回)、リーガルサポート	○ 地域福祉コーディネーターと自立生活サポートセンターと協働で事業説明を行うことで、効率化されたと共に、相互理解を深めることができた。 ○ 支援者向けの事業説明を重点的に実施したことで相談件数の増加に繋がった。 ○ 金融機関と意見交換を行い、銀行

	東京支部、はらからの家福社会、訪問看護さわやか 出張講座: ゆうちょ銀行、シニア向け分譲マンション入所者向け出前講座、基幹スキルアップ講座(基幹相談支援センター主催)、成年後見制度ミニ講座(包括支援センター主催)、小地域ケア会議(2回) (3) ニュースレターの発行(1回)	支援で困難に感じている課題を共有し、相互理解の促進に繋がった。
--	---	--

(2) 成年後見活用あんしん生活創造事業(国分寺市委託事業)

成年後見制度の利用を促進するための体制整備及び事業の実施を支援することにより、認知症高齢者、知的障害者等が判断能力の低下によって自らの財産管理や日常生活を営むことが困難となった場合に、地域で安心して生活を継続できるよう、成年後見制度の積極的な活用を図ることを目的に事業を実施した。

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 中核機関の運営	(1) 広報活動 ① 成年後見制度講演会 実施日: 12月6日 参加者: 81名 ② 出張講座(6回) ・ ゆうちょ銀行、シニア向け分譲マンション入所者向け出前講座、基幹スキルアップ講座(基幹相談支援センター主催)、成年後見制度ミニ講座(包括支援センター主催)、小地域ケア会議(2回) ③ パンフレット等の配布 ④ 事業説明(9回) 市職員(2回)、基幹相談支援センター、包括支援センター(3回)、リーガルサポート東京支部、はらからの家福社会、訪問看護さわやか (2) 相談支援事業 ① 成年後見専門相談(年9回) 相談件数 21 件 ② 成年後見制度無料個別相談会 実施日: 12月6日 相談件数: 6件 (3) 成年後見制度の利用促進 ① 権利擁護支援検討会議(年12回) 相談件数: 25 件(重複あり) ② 後見人等候補者の受任調整 ③ 市民後見人候補者推薦会議 (4) 後見人の支援 ① 親族後見人懇談会 実施日: 12月13日	○ 今年度は特に任意後見制度の利用促進を図るために小地域ケア会議で支援者向けに講義を行った。また市民向けの出前講座を2回開催し、判断能力があるうちから将来に備えて準備する予防的な視点を持ってもらう機会となった。 ○ 個別相談会の集客が課題になっているが、講演会と同日開催し当日枠を設けたことで講演会を聞いた後、個別相談に繋げることができた。 ○ 親族後見人懇談会を国立市社協と共催し、参加者が増え有意義な懇談の場を提供することができた。 ○ 法人後見を実施している他の実施団体との懇談を通じ、国分寺社協が行う法人後見のあり方の検討に繋がった。 ○ 新たな取り組みとして北多摩西部ブロック合同市民後見人連絡会を開催し、他地区で活躍している市民後見人と懇談の機会を持つことで活動内容を知る機会となった。また市民後見人のモチベーションアップにも繋がった。

	② 法人後見実施団体との懇談会 実施日:6月14日、12月17日 ③ チーム支援やモニタリングの実施:42件 ④ 市民後見人受任者懇談会 実施日:8年3月25日 ⑤ 北多摩西部ブロック合同市民後見人連絡会 実施日:11月11日 (2) 権利擁護地域連携ネットワーク会議(協議会)の設置	
2. 市民後見人の育成	(1) 市民後見人フォローアップ講座(全4回) 実施日:5月17日、9月17日、8年1月17日、3月14日 (2) 研修の機会の確保 (3) 生活支援員の登録・活動 登録20名 活動14名	○ フォローアップ講座を通して本講座では得られなかったさまざまな知識の習得と事例演習で意思決定支援を学ぶことでスキルアップを図った。 ○ 生活支援員の登録を推奨し、実務に携わる機会を提供した。
3. 法人後見業務	(1) 受任件数:3件(累計5件) 延べ対応回数:763回	○ 業務実施状況は運営委員会で報告し助言や指導を得ている。 ○ 初回報告や定期報告は顧問弁護士に確認を依頼し安全性を担保している。
4. 法人後見監督業務	(1) 受任件数:4件(累計13件) 延べ対応回数:388回	○ 業務実施状況は運営委員会で報告し助言や指導を得ている。 ○ 市民後見人が不安なく支援にあたることができるように随時相談を受け、後見人へのサポートとしてカンファレンス等に同席し、状況の確認を行なった。
5. 運営委員会	(1) 運営委員会の開催(2回) 実施日:4月17日、10月16日	○ 運営委員会を開催した。
6. 権利擁護地域連携ネットワーク会議(協議会)	(1) 権利擁護地域連携ネットワーク会議の開催(2回) 実施日:7月17日、8年1月22日	○ 令和7年度より協議会の開催日数を1回から2回へ変更を行った。 ○ 令和7年度は課題抽出を重点的に行い、令和8年度に取り組むべき内容を整理した。
7. 地域連携ネットワークの活用	(1) 権利擁護関係機関連絡会の開催(3回) 実施日:5月23日、10月30日、8年2月19日	○ 2回目は地域福祉コーディネーター担当と共催。内外共に有機的な連携を図る一助となった。

(3)緊急一時事務管理事業(国分寺市委託事業)

緊急に保護が必要になった判断能力の低下した高齢者や知的障害者、精神障害者のうち、金銭管理等が特に必要な方に対して民法に規定する事務管理を緊急かつ一時的に実施する体制を整えた。令和7年度の委託は4件。

(4)地域福祉権利擁護事業(東京都社会福祉協議会委託事業)

認知症高齢者や知的障害者、精神障害者等で、1人で福祉サービスの利用や金銭管理が困難な方が地域で安心・安定した生活を送れるよう、社会福祉協議会との契約により福祉サービス利用援助、日常的金銭管理サービス、書類等預かりサービスを行った。

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 安定した事業実施	(1) 内部ケース会議の開催(月1回) (2) 関係機関との連携強化 (3) 他地区との連携 (4) 北多摩西部ブロック社協の担当者会議に参加(5回) 実施日:5月27日、7月22日、 9月26日、11月25日、 8年3月24日	○ 新規契約24件、解約18件、年度末契約者数116件、相談対応11,759回と相談件数は増加している。事業説明を重点的に実施したことで、本事業が権利擁護支援の入り口として周知・理解に繋がっている。
2. 生活支援員の育成	(1) 生活支援員懇談会(2回) 実施日:4月17日、11月8日 (2) 研修会への参加 ・ 東京都社会福祉協議会主催の新任・現任研修に参加した。 ・ 北多摩西部ブロック社協の合同研修に参加した。 ・ その他任意研修として、権利擁護関係機関連絡会や成年後見制度講演会、市民後見人フォローアップ講座等に参加した。	○ 7年度末登録者36名。年度内新規登録5名。 ○ 実務研修の一環として生活支援員の登録や活動を推奨している。 ○ 育成のため、新任研修と現任研修、北多摩西部ブロック社協の合同研修への参加は必須としている。
3. 広報活動	(1) ホームページ上での適宜の情報発信、パンフレットや通信等の作成や配架を行った。 (2) 関係機関や団体向けに事業説明の機会を積極的に得た。また希望に応じ講座や研修の講師等を務めた。	○ 事業説明を重点的に実施したことで、本事業が権利擁護支援の入り口として周知・理解に繋がっている。

(5)その他

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 職員の資質向上	(1) 委員の派遣 (2) 会議・研修への参加	○ 職員の資質向上や関係機関との連携の強化につながった。

(5)―1―(1) (委員の派遣)

国分寺市地域ケア会議権利擁護部会	6月19日、8年1月15日
国分寺市地域包括支援センター運営協議会	4月24日、6月9日、8月18日
国分寺市消費者見守りネットワーク協議会	6月19日、9月3日、8年1月15日
国分寺市障害者地域自立支援協議会	7月1日、10月21日、8年3月19日

(5)―1―(2) (会議・研修)

地域福祉権利擁護事業センター長会議	11月26日
地域福祉権利擁護事業業務連絡会	6月18日、8年2月3日

地域福祉権利擁護事業専門員研修	7月10日、8月7日、10月23日、 12月1日、8年1月26日
成年後見制度推進機関 テーマ別研究会議	7月14日、12月11日
成年後見制度推進機関 フォローアップ研修	9月18日、11月4日
区市町村苦情対応機関専門研修	9月2日、8年2月2日
市区町村社会福祉協議会基礎研修	12月5日、8年1月20日、2月20日
北多摩西部ブロック社協 地域福祉権利擁護事業専門員研修	8年1月27日
東京都成年後見地域連携ネットワーク会議	11月20日
東京都成年後見制度推進機関連絡会	11月20日
東京都区市町村長申立て研修	7月16日
地域と家裁の連絡会	8年2月25日
家事関係機関との連絡協議会	8年2月25日
利用者支援区市町村連絡会	5月29日

(コラム「いずみプラザ」へ移転しました)

令和7年5月に、国分寺市社会福祉協議会の一部機能が、いずみプラザ1階に移転しました。



(いずみプラザに移転した機能)

- ① 地域福祉コーディネーター担当(重層的支援体制整備事業)
- ② 自立支援担当(生活困窮者自立支援事業、受験生チャレンジ支援貸付窓口運営事業)
- ③ 権利擁護担当(福祉サービス総合支援事業、成年後見活用あんしん生活創造事業、緊急一時事務管理事業、地域福祉権利擁護事業)

Ⅱ．関係機関・団体への委員等の派遣



(1)関係機関・団体等への委員等の派遣

国分寺市や関係機関・団体の理事・評議員として、本会役員を派遣した。

【国分寺市】

会議・団体名	役職等	派遣者	任期
生きがい推進事業協議会	委員	常務理事兼事務局長:小川恵一郎	令和6年10月1日～ 令和8年9月30日
民生児童委員推せん会	委員	常務理事兼事務局長:小川恵一郎	令和5年11月1日～ 令和8年10月31日
防災会議	委員	会長:熊谷 淳	令和6年7月1日～ 令和8年6月30日
要保護児童対策地域協議会代表者	委員	会長:熊谷 淳	
障害者虐待防止ネットワーク 代表者会議	委員	会長:熊谷 淳	
高齢者虐待防止ネットワーク 代表者会議	委員	会長:熊谷 淳	
障害者虐待防止ネットワーク 実務者会議	委員	常務理事兼事務局長:小川恵一郎	
高齢者虐待防止ネットワーク 実務者会議	委員	常務理事兼事務局長:小川恵一郎	
介護保険運営協議会	委員	常務理事兼事務局長:小川恵一郎	令和6年4月1日～ 令和9年3月31日
地域福祉推進協議会	委員 (副会長)	常務理事兼事務局長:小川恵一郎	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日
国分寺市特別職報酬等審議会	委員	理事:二階堂 寛	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日
国分寺市地域福祉計画評価等委員会	委員	常務理事兼事務局長:小川恵一郎	令和7年6月1日～ 令和10年3月31日

【市内社会福祉法人等】

会議・団体名	役職等	派遣者	任期
一般財団法人 国分寺市健康福祉サービス協会	理事	会長:熊谷 淳(～令和6年6月) 常務理事兼事務局長:小川恵一郎 (令和6年6月13日～)	令和6年6月13日～ 令和8年度定時評議員会 の終結の時
一般財団法人国分寺市健康福祉 サービス協会 苦情処理委員会	委員	会長:熊谷 淳(～令和6年7月) 常務理事兼事務局長:小川恵一郎 (令和6年8月1日～)	令和6年8月1日～ 令和8年7月31日
一般財団法人 国分寺市健康福祉サービス協会	評議員	常務理事兼事務局長:小川恵一郎 (～令和6年6月) 会長:熊谷淳(令和6年6月13日～)	令和6年6月13日～ 令和8年度定時評議員会 の終結の時
社会福祉法人 はらからの家福祉会	理事	常務理事兼事務局長:小川恵一郎	令和7年6月26日～ 令和9年度定時評議員会 の終結の時まで
社会福祉法人 万葉の里	評議員	常務理事兼事務局長:小川恵一郎	令和7年6月26日～ 令和11年度定時評議員会 の終結の時

社会福祉法人 AnnBee	評議員	常務理事兼事務局長:小川恵一郎	令和7年6月22日～ 令和 10 年度定時評議員会の終結の時
社会福祉法人 けやきの杜 評議員選任・解任委員会	委員	常務理事兼事務局長:小川恵一郎	令和7年6月7日～ 令和10年度に関する定時評議員会の終結の時
東経大・国分寺 地域連携推進協議会	委員	会長:熊谷 淳	
国分寺地域インターンシップ・ 学生地域参加実施委員会	委員	常務理事兼事務局長:小川恵一郎	
国分寺消防署 住宅防火防災対策推進協議会	委員	会長:熊谷 淳	
国分寺市障害者福祉を進める会	委員 (副会長)	常務理事兼事務局長:小川恵一郎	
東京都共同募金会 国分寺地区協力会	監事	理事:飯沼 克美	令和8年度第1回理事・監事会終結の時
	会長	監事:森田 林三	
	理事	相談役:内藤 孝雄	令和8年1月27日～ 令和8年度第1回理事・監事会終結の時
国分寺市 観光まちづくり連絡協議会	委員	常務理事兼事務局長:小川恵一郎	
国分寺まつり実行委員会役員	庶務部会長	常務理事兼事務局長:小川恵一郎	

Ⅲ. 資料



(1)評議員(第 29 期)名簿

(敬称略 順不同)

氏名	選出団体等
白木 昭憲	国分寺障害者団体連絡協議会
本多 隆	特定非営利活動法人 あおぞら
本多 勇	国分寺社会福祉士会
松本 栄作	国分寺市商工会
小川 洋平	一般社団法人 国分寺青年会議所
小林 直美	学校法人 国際文化学園
笹川 克也	学校法人 東京経済大学
白木 毅生	国分寺建設業協会
加藤清一郎	本多連合町会
福本 雄吉	恋ヶ窪自治会連合会
田中 賢治	戸倉自治会
櫻井 幹三	高木町自治会
押味亜希子	国分寺市国際協会
山下 宣子	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
成瀬 大輔	社会福祉事業の学識経験者
野中 明彦	社会福祉に関心を有する個人団体

※任期:令和7年6月 27 日から令和 10 年度に関する定時評議員会の終結の時まで

(2)評議員選任・解任委員会委員名簿

(敬称略・順不同)

氏名	選出区分
林 博行	国分寺市社会福祉協議会 監事
関田 實	外部委員
峯岸 桂一	外部委員
北邑 和弘	国分寺市社会福祉協議会 事務局次長
前田 住榮	国分寺市社会福祉協議会 総務課長

※任期 令和7年6月 27 日から令和8年度に関する定時評議員会の終結の時まで

(3)役員(第 31 期)名簿

(敬称略)

役名	氏名	選出団体等
会長	熊谷 淳	学識経験者
副会長	内藤 孝雄(～11月30日)	国分寺市民生委員・児童委員協議会
副会長	新井 宏伸	国分寺市健康部長
常務理事	小川恵一郎	社会福祉法人 国分寺市社会福祉協議会
理事	高木 智匡	一般社団法人 国分寺市医師会
理事	二階堂 寛	東京司法書士会 府中支部
理事	和地 誠一	北多摩東地区保護司会 国分寺分区
理事	野口 誠一	国分寺市老人クラブ連合会
理事	飯沼 克美	東京国分寺ロータリークラブ
理事	川島 政義	東京国分寺ライオンズクラブ
理事	織戸小百合	社会福祉法人 つくしんぼ共同保育会
理事	長畑 達也	社会福祉法人 至誠学舎立川 至誠ホーム
理事	木下 るみ子	社会福祉法人 AnnBee
理事	室地 隆彦	社会福祉法人 万葉の里
理事	前出 禎造(8年3月27日～)	国分寺市民生委員・児童委員協議会
理事	井口 朗(8年3月27日～)	東京国分寺ロータリークラブ
理事	井澤 恵子(8年3月27日～)	国際ソロプチミスト国分寺
監事	寺田 昭仁	学識経験者
監事	林 博行	学識経験者

顧問・名誉会長	森田 林三(7月1日～)	前監事
---------	--------------	-----

相談役	那知上 亨	元監事
	野口 進	元副会長
	内藤 孝雄(12月9日～)	前副会長

※任期:令和7年6月27日から令和8年度に関する定時評議員会終結の時まで

(4)協力員(第30期)名簿

氏名	所属
森田 隆	元民生・児童委員
小林 暁子	元民生・児童委員
遠藤 久基	元民生・児童委員
松木やす子	元民生・児童委員
植田 虎生	光町南部自治会
高橋 慶子	元民生・児童委員
齋藤 利一	元民生・児童委員
池谷 憲治	民生・児童委員
荒井 幸子	元民生・児童委員
追谷 恵子	元民生・児童委員
小坂くみこ	元民生・児童委員
深山 正子	元民生・児童委員
戸倉 央江	民生・児童委員
浅見 健治	元民生・児童委員
朝倉 さく	元民生・児童委員
蓮實 麗子	元民生・児童委員
中村 朋子	民生・児童委員
坂本 直美	元民生・児童委員
逸見 昭夫	元民生・児童委員
長谷部豊子	元主任児童委員
川窪 稔	元民生・児童委員
清水 武	元民生・児童委員
進 万佐子	元民生・児童委員
渡邊 泰子	元民生・児童委員
原 直彦	元民生・児童委員
松友 了	元民生・児童委員
坂本喜久子	元民生・児童委員
大濱 夏	元民生・児童委員
堀田 和重	民生・児童委員
野村 希	元民生・児童委員
田中 雅男	民生・児童委員
杉浦 真子	民生・児童委員
高嶺 和子	民生・児童委員
小塚 文子	民生・児童委員
小野 政雄	元民生・児童委員
黒川由紀子	元民生・児童委員
高塚たか子	民生・児童委員
寺内 理恵	元民生・児童委員
榎戸 敏雄	元民生・児童委員
清水智恵子	元民生・児童委員
鈴木 雅大	元民生・児童委員
村原 町子	民生・児童委員
金子 千佳	主任児童委員

(敬称略・順不同)

氏名	所属
斉藤 順法	民生・児童委員
蓑和久美子	民生・児童委員
寺嶋 文代	元民生・児童委員
吉川 祐子	民生・児童委員
渡辺笑美代	元民生・児童委員
井上たき子	元民生・児童委員
田中 明美	元民生・児童委員
田中美登里	元民生・児童委員
前出 禎造	民生・児童委員
和地 孝三	元民生・児童委員
植田 和秀	元民生・児童委員
高波 辰男	元民生・児童委員
宮田萬利子	民生・児童委員
岩澤美代子	民生・児童委員
岡田 忍	元民生・児童委員
小澤 達代	元民生・児童委員
鈴木 恵子	民生・児童委員
阿部 公昭	元民生・児童委員
廣松 千晶	主任児童委員
小林 智子	元主任児童委員
星 和子	元民生・児童委員
中村 陽子	民生・児童委員
田和 洋太	主任児童委員
宮崎 邦子	民生・児童委員
大澤早智子	元民生・児童委員
山本千代子	元民生・児童委員
笠原三千代	元民生・児童委員
内藤 利子	元民生・児童委員
三ツ木静江	元民生・児童委員
丹下 美幸	元民生・児童委員
金子 健一	元主任児童委員
山田ユリ子	民生・児童委員
天野 徹	民生・児童委員
宮尾 康子	民生・児童委員
山口 悦子	民生・児童委員
山内 信也	民生・児童委員
佐藤 より	主任児童委員
野田智恵子	民生・児童委員
野中 直子	民生・児童委員
井澤伸一郎	民生・児童委員
加藤 幸	民生・児童委員
佐藤 宣子	民生・児童委員
坂本 浩	民生・児童委員
坂本 昌枝	民生・児童委員

氏名	所属
神田佐和子	民生・児童委員
平岡 是昭	元民生・児童委員
阿部 恵子	元民生・児童委員
森田 敏明	民生・児童委員
尾崎喜代江	元民生・児童委員
石川 眞澄	民生・児童委員
岩崎 文子	元民生・児童委員
尾崎 周一	元民生・児童委員
岡田 清美	元民生・児童委員
鈴木 汎子	元民生・児童委員
池谷 敏子	元民生・児童委員
田中 征朗	本町・南町連合自治会
山田 正則	元民生・児童委員
近藤 歩	民生・児童委員
三浦 真由美	民生・児童委員
高杉 定克	民生・児童委員
児玉 志織	民生・児童委員
森田 雅幸	民生・児童委員

氏名	所属
二瓶比呂子	民生・児童委員
梶原 孝子	民生・児童委員
武田 眞宜	民生・児童委員
小俣 由起	民生・児童委員
渡来 由美子	民生・児童委員
黒木 宏子	民生・児童委員
永山 律子	民生・児童委員
渡邊 昇苗	元主任児童委員
白石 千晶	民生・児童委員
井村 穰	民生・児童委員
倉本 恵美	主任児童委員
坂井 咲子	民生・児童委員
朝倉 尚子	民生・児童委員
長谷川 恵子	民生・児童委員
榎本 歓子	民生・児童委員
加藤 淳	民生・児童委員
永瀬 乃里子	主任児童委員
田中 京子	民生・児童委員

※任期:令和6年4月1日～令和8年3月 31 日

(5)国分寺市地域福祉活動計画推進・評価委員会 委員名簿（敬称略）

No.	氏名	所属	区分
1	◎熊田 博喜	武蔵野大学	学識経験者
2	宮崎 邦子	国分寺市民生・児童委員協議会	福祉関係者
3	○本多 勇	国分寺社会福祉士会	
4	室地 隆彦	国分寺市社会福祉法人連絡会	
5	加藤 清一郎	自治会・町内会(本多連合町会)	市民・ボランティア
6	杉田 直木	ボランティア活動センター運営委員	
7	青木 智子	なみきのね	
8	渡部 納	国分寺市地域共生推進課	行政関係
9	井村 穰	キイニヨン	その他会長が認めるもの
10	織戸 小百合	社会福祉法人 国分寺市社会福祉協議会	社協関係

〈オブザーバー〉

	濱野知恵子	社会福祉法人 東京都社会福祉協議会	社協関係
	加藤千優	東京学芸大学 ソーシャルワークコース	学生
	宮家天寧		
	小関汐音		

※任期:令和8年3月6日～令和9年3月 31 日

※◎は委員長 ○は副委員長

(6) ボランティア活動センターこくぶんじ運営委員会 委員名簿（敬称略）

No.	氏名	所属団体名
1	◎枝見 太朗	社会福祉法人 東京都共同募金会
2	○杉田 直木	地域つながり協力隊
3	中村 弘子	国分寺社会福祉士会
4	浜野 浩一	HART 関東
5	龍神 瑞穂	国分寺市民防災推進委員会
6	山内 敦	国分寺市障害者施設お仕事ネットワーク(社会福祉法人 AnnBee)
7	蜂須賀公之	特定非営利活動法人 NPO birth(都立武蔵国分寺公園サービスセンター)
8	矢野 彩我	東経大ボランティアサークル「Clover」
9	小倉 萌葉	東経大ボランティアサークル「Clover」
10	菅家虎士朗	東経大ボランティアサークル「Clover」
11	篠原のぞみ	イラストレーター
12	中村 琢次	多摩信用金庫 国分寺支店
13	澤田 勇太	一般社団法人 国分寺青年会議所
14	大山 純子	一般財団法人 国分寺市健康福祉サービス協会
15	成瀬 翼	個人
16	紺野敬一郎	RANDOM
17	井上 慶一	国分寺市 市民生活部 協働コミュニティ課 協働・コミュニティ担当
18	吉田 真也	東京ボランティア・市民活動センター
19	室地 隆彦	社会福祉法人 国分寺市社会福祉協議会

※任期:令和6年4月1日～令和8年3月 31 日

※◎は委員長 ○は副委員長

(7) 権利擁護センターこくぶんじ運営委員会 委員名簿（敬称略）

No.	氏名	区分	所属
1	◎足立 剛	弁護士	武蔵国分寺法律事務所
2	藤田 英親	医師	一般社団法人 国分寺市医師会
3	○真坂 武	司法書士	公益社団法人成年後見センターリーガルサポート東京支部
4	永吉 久美	社会福祉士	公益社団法人 東京社会福祉士会
5	前出 禎造	民生・児童委員	国分寺市民生委員・児童委員協議会
6	二階堂 寛	社会福祉協議会理事	国分寺市社会福祉協議会 理事
7	阿部 由美	福祉関係団体	NPO 法人 国分寺市手をつなぐ親の会
8	遠山 直子	福祉関係団体	認知症の人を支える家族の会「きさらぎ会」
9	毛塚 和英	福祉関係団体	NPO 法人 成年後見ウィル
10	斉藤千映子	東京都社会福祉協議会	東京都社会福祉協議会 地域福祉部

※オブザーバー:伊達俊二氏(顧問弁護士)

※任期:令和6年4月1日～令和8年3月 31 日

※◎:委員長 ○副委員長

(8)権利擁護地域連携ネットワーク会議 委員名簿 (敬称略)

No.	氏名	区分	所属
1	◎川端 伸子	学識経験者	一般社団法人 権利擁護支援プロジェクトともす 代表理事
2	足立 剛	運営委員会	権利擁護センターこくぶんじ運営委員会 委員長 武蔵国分寺法律事務所 弁護士
3	真坂 武	司法書士	公益社団法人 成年後見センターリーガルサポート東京支部
4	永吉 久美	社会福祉士	公益社団法人 東京社会福祉士会
5	石川 眞澄	民生・児童委員	国分寺市民生委員・児童委員協議会
6	遠山 直子	福祉関係団体	認知症の人を支える家族の会「きさらぎ会」世話人
7	毛塚 和英	福祉関係団体	NPO 法人 成年後見ウィル 理事
8	○木村 祥子	地域包括支援センター	国分寺地域包括支援センターなみき 管理者
9	尾田 史剛	障害者基幹相談支援センター	国分寺市障害者基幹相談支援センター 管理者
10	日高 志朗	郵便局	国分寺南郵便局 局長
11	朝比奈 秀	国分寺病院	国分寺病院 医療相談室

※任期:令和6年4月1日～令和8年3月31日 ※◎:委員長 ○副委員長

(9)第12期 東京都共同募金会国分寺地区協力会役員名簿 (敬称略)

役職	氏名	所属・団体名	配分推せん委員会
会長	森田 林三	社会福祉法人 国分寺市社会福祉協議会	配分推せん委員 (委員長)
副会長	野口 誠一	国分寺市老人クラブ連合会	
副会長	藤原 英作	東京武蔵国分寺ロータリークラブ	
常務理事	田中 健一	内藤自治会	配分推せん委員
理事	内藤 孝雄	社会福祉法人 国分寺市社会福祉協議会	配分推せん委員
理事	神崎 政義	戸倉自治会	配分推せん委員
理事	石井 一雄	東元町一丁目自治会	
理事	小坂 宗次	元町自治会	
理事	櫻井 幹三	高木町自治会	配分推せん委員 (副委員長)
理事	青木 恒夫	光町北部自治会	
理事	寺本 桂一	西町中藤町会	
理事	佐藤 和男	恋ヶ窪自治会連合会	
理事	加藤清一郎	本多連合町会	
理事	前出 禎造	国分寺市民生委員・児童委員協議会	
理事	川島 政義	東京国分寺ライオンズクラブ	
理事	高橋 智成	国分寺市商工会	配分推せん委員
理事	朝倉 さく	国際ソロプチミスト国分寺	
理事	伏見 宏二	国分寺市学童少年軟式野球連盟	
理事	榎本 圭志	国分寺市教育委員会	
理事	小峯 基弘	国分寺市健康部 地域共生推進課	
監事	飯沼 克美	社会福祉法人 国分寺市社会福祉協議会	配分推せん委員 (監事)
監事	土井 満春	東京国分寺ロータリークラブ	

任期:令和6年8月1日～令和8年度第1回理事・監事会終結の時まで

(10)「第12回 社協ふくしのつどい」受賞者名簿

<表彰:20名>

会員会費(法人・団体会員)

特定非営利活動法人 国分寺市にふるさとをつくる会 様、RANDOM(ランダム)様

会員会費(個人特別会員)

佐藤 とみい 様、岸田 学 様

高額寄付者(年間5万円以上)

オパール料理同好会 様、国分寺市身体障害者福祉協会 様、国分寺いきがいの会 様

登録団体・サロン

国分寺市青少年育成南地区委員会 様、地域つながり協力隊 様、国分寺赤米会 様

ボランティアステーション:ふれあい募金箱

有限会社 鈴木栄太郎商店 様、社会福祉法人 万葉の里 KOCO・ジャム 様、ナイトウ果樹園 様

ボランティアステーション:車いすステーション

本多三丁目北町内会 1(島森宅) 様、

一般財団法人 国分寺市健康福祉サービス協会 介護老人保健施設すこやか 様

見守り訪問事業 見守りサポーター

伊東 悦子 様、馬郡 恵 様

地域福祉権利擁護事業 登録型生活支援員

碓氷 滋子 様、田口 健太郎 様

地域支え合い活動 登録者

牧野 勝 様

<感謝:17名>

会員会費(法人・団体会員)

特定非営利活動法人 ひょうたん島 様

会員会費(個人特別会員)

荒井 東治 様、根川 忠道 様

高額寄付者(年間2万円以上)

東京経済大学 SDGs 学生委員会 様、匿名3名

登録団体・サロン

特定非営利活動法人 バードライフサポート虹いろ 様、COKUCAMP(こくキャン) 様、

ゆるやかコミュニティ ふたごのまあち 様、こくフェス実行委員会 様

ボランティアステーション:ふれあい募金箱

社会福祉法人 はらからの家福祉会 地域生活支援センタープラッツ 様、

行政書士 石井法務事務所 様、多根果実店 様、お料理と自家製米 祝い家 様、酒場 12(かずじ)様

地域福祉権利擁護事業 登録型生活支援員

権 裕理 様

【ここねっと推進助成事業 決定一覧】

①日常活動費(計7件 275,000 円)

No.	団 体 名	事 業 名	助成金額(円)
1	マジックサークル木曜会	マジックによる地域交流活動	50,000
2	特定非営利活動法人 コアラッコ子育てサポート	コアラッコ Club	50,000
3	ひょうたん島サロン	地域の元気な高齢者のサロン	25,000
4	並木町防災準備会	並木町防災準備会設立準備	25,000
5	特定非営利活動法人 ひょうたん島	ワンコイン講座/ひょうたん島「つうしん」の発行	50,000
6	国分寺・国立ママサークルお ひさま	育児が楽しくなる親子イベント	30,000
7	おひさまてらす	ひきこもり等、生きづらさを抱えている人を支 える家族の会	45,000

②イベント費(計9件 339,000 円)

No.	団 体 名	事 業 名	助成金額(円)
1	特定非営利活動法人 国分寺にふるさとをつくる会	多摩の自然を楽しく学ぶ会	50,000
2	内藤・日吉地域連合防災会	防災フェスタ	30,000
3	フリースペース・ミモザ	講演会	27,000
4	国分寺市聴覚障害者協会	講演会	40,000
5	国分寺市障害者福祉を進める会	障害者福祉の理解をすすめるカレンダー制作事業	50,000
6	北町防災会	北町地域センターまつり(環境を考える事業)	16,000
7	防災まちづくり27会	防災講演会	30,000
8	地域づくりをすすめる会(ふうらい)	ふらっとけやき公園	50,000
9	国分寺難病の会	パーキンソン病を知りましょう	46,000

③立ち上げ費(計2件 51,000 円)

No.	団 体 名	事 業 名	助成金額(円)
1	なちゅべび nice to have	あったらいいなを形に。親子で行ける街の集会所	30,000
2	ぶんぶんモルック	地域の誰もが参加できるフレイル予防事業	21,000

【ボランティア活動センターこくぶんじ 登録サロン一覧】 ※印は新規登録サロン

種別	サロン名	実施地区
高齢	認知症の人を支える家族の会「きさらぎ会」	泉町 他
	ひょうたん島サロン	本多
高齢(体操)	南町 1 丁目グループ	南町
子ども・親子	一般社団法人(非営利型) 小さな森Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	東元町
	えんがわ SALON	内藤
その他	フリースペース・ミモザ	泉町
	おひさまてらす	
	※ぶんぶんモルック	南町 他

【ボランティア活動センターこくぶんじ 登録団体一覧】 ※印は新規登録団体

【障害児者関係】		【環境関係】	
1	音訳グループやまばと	1	美しい用水の会
2	拡大写本こくぶんじ	2	ミズモリ団
3	国分寺あゆみ会	3	緑と自然を育てる会
4	国分寺子どもクラブ	4	野川源流みどりの会
5	国分寺市障害者福祉を進める会	5	もとまち里山クラブ
6	国分寺市聴覚障害者協会	6	クリーン国分寺
7	国分寺障害者団体連絡協議会	【まちづくり関係】	
8	国分寺難病の会	1	国分寺文化財愛護の会
9	社会福祉法人 東京聴覚障害者福祉事業協会 クラブかたつむり	2	「たまりば」の会
		3	国分寺市北町地域センター利用者協議会
10	社会福祉法人 はらからの家福祉会	4	国分寺市西町プラザ利用者協議会
11	手話サークル国分寺	5	国分寺市立もとまち地域センター利用者協議会
12	特定非営利活動法人 Ohana		
13	特定非営利活動法人 国分寺市手をつなぐ親の会	6	地域つながり協力隊
		7	特定非営利活動法人 まちづくりサポート国分寺
14	特定非営利活動法人 国分寺ハンディキャブ運営委員会	8	特定非営利活動法人 ワーカーズ風ぐるま
15	特定非営利活動法人 視覚障がい者ネットワークコトリナ	9	日吉町町内会
		10	本多連合町会
16	特定非営利活動法人 ひょうたん島	11	国分寺赤米会
17	プリンデンテニスクラブ	12	医師焼き芋
【高齢者関係】		13	こくぶんじかん編集室
1	一般社団法人 日本スポーツウエルネス吹矢協会 国分寺中央支部	14	ぶんじ食堂プロジェクト
		15	こくフェス実行委員会
2	一般社団法人 一粒福祉会 デイオアシスまほろば	16	こくセージ
		17	にわのいえ・もとまち
3	傾聴ボランティアグループかたらい	18	国分寺市内藤地域センター利用者協議会
4	特定非営利活動法人 すまいる	19	こくぶんじ井戸端会議シネマ
5	東元町明寿会	20	Hope Creator
6	老人クラブ 友愛会	21	わらしベコーヒー
7	国分寺生きがいクラブ東南会	22	こくぶんじ・みんなの居場所づくり連絡会
8	特定非営利活動法人 バードライフサポート虹いろ	23	地域づくりをすすめる会(ふうらい)
		24	おもしろ研究所 ※
9	健康クラブ連合会	【防災・災害関係】	
10	Lā Lino Coco ※	1	内藤・日吉地域連合防災会
		2	防災まちづくり 27 会
		3	防災推進の街づくり仲間の会
		4	並木町防災準備会
		5	ペット防災会☆国分寺
		6	北町防災会 ※

【子ども・親子関係】		【趣味・特技活動関係】	
1	かたぐるまの会	1	OH!ジーンズ
2	おはなしの会「でんでんだいこ」	2	国分寺語りの会
3	ガールスカウト東京都第97団	3	国分寺市スポーツウエルネス吹矢協会
4	特定非営利活動法人 コアラッコ子育てサポート	4	光パソコンの会
5	国分寺市青少年育成南地区委員会	5	ペーパークラフトの会
6	東京学芸大学地域子ども会活動サークル むぎのこ 国分寺班	6	マジックサークル木曜会
7	特定非営利活動法人 国分寺市にふるさとをつくる会	7	もとまち書道会
		8	ウォーキングフットボール パーティ ※
8	ニコトコ製作所	【保健・健康・福祉】	
9	ふらっと ぱれっと	1	国分寺市赤十字奉仕団
10	ママも私も楽しむ親子ひろば まちのこ	2	国分寺社会福祉士会
11	どリーむさぽーと LABO	3	特定非営利活動法人 日本セラピスト普及協会
12	国分寺の不登校を考える会		特定非営利活動法人 東京多摩いのちの電話
13	COKUCAMP(こくキャン)	4	みんなで歩こう会
14	ゆるやかコミュニティ ふたごのまあち	5	HART 関東
15	国分寺市立第十小学校十小 PTA	6	恋ヶ窪・カワセミ倶楽部
16	国分寺市青少年育成中央地区委員会	7	チームレモスタ ※
17	みなこのわ	8	
18	特定非営利活動法人一粒の麦 ark 学習塾		
19	「鶏眞ボランティア」の会		
20	国分寺・国立ママサークル おひさま		
21	しちしち子ども食堂 ※		

【令和7年度 車いすステーション一覧】

No.	ステーション名	町 名
1	すぎもと米店	東元町
2	もとまち公民館	
3	リハセンターにんじん・健康の駅	西元町
4	社会福祉法人 Ann Bee(アンビー)	
5	リーベル(訪問看護・介護タクシー)	
6	らくだ デイサービス	南町
7	地域生活支援センター プラッツ	
8	日之出屋寝具店	
9	本町・南町地域センター	本町
10	深田記念館	
11	イエノウエノカフェ	
12	たけむら整形外科	
13	ケア・センターやわらぎ国分寺	
14	三多摩医療生活協同組合 国分寺診療所	本多
15	行政書士 石井法務事務所	
16	医療法人社団 清浩会 杉山歯科医院	
17	プライム ふく福	
18	本多三丁目北町内会 1(島森宅)	東恋ヶ窪
19	有限会社 アワーズ	
20	社会福祉法人 浴光会 あじさい苑	
21	坂本宅	
22	国分寺東恋ヶ窪四郵便局	
23	北の原地域センター	泉町
24	セブン-イレブン西国分寺駅前店	
25	アマネシ酒店	
26	国分寺市介護老人保健施設 すこやか	
27	及川宅	
28	特定非営利活動法人 ワークス風ぐるま	西恋ヶ窪
29	有限会社 宮寺酒店	
30	特定非営利活動法人 すまいる	
31	ハアーサロン タケザワ	東戸倉
32	社会福祉法人 万葉の里 KOCO・ジャム	
33	特定非営利活動法人 暖家 グループホームとくら	戸倉
34	社会福祉法人 けやきの杜 小規模多機能むさし	
35	社会福祉法人 幹福社会 ヘルプ協会国分寺	日吉町
36	クラブかたつむり	
37	介護付き有料老人ホームエクセルシオール西国分寺	内藤
38	ナイトウ果樹園	
39	一般社団法人 一粒福社会 デイオアシスまほろば	富士本
40	特定非営利活動法人 国分寺ハンディキャブ運営委員会	並木町
41	曹洞宗 妙法寺	北町
42	社会福祉法人 けやきの杜 ルーチェ	光町
43	高島屋 原田酒店	高木町
44	織田島酒店	
45	にしまち歯科	西町
46	けやき台分譲団地管理組合	
47	西町弁天町内会(宮下宅 元 グリコ牛乳販売店)	

【令和7年度 ふれあい募金箱設置か所一覧】

No.	設置場所	町名	No.	設置場所	町名
1	らくだデイサービスセンター	南町	28	社会福祉法人 ななえの里 ともしび工房	西恋ヶ窪
2	山水堂		29	麺処 更科	
3	日本料理 天松		30	いなげや ina21 国分寺西恋ヶ窪店	
4	カフェといろいろびより		31	特定非営利活動法人 暖家 グループホームとくら	東戸倉
5	地域生活支援センタープラッツ		32	特定非営利活動法人 国分寺市手をつなぐ親の会	
6	国分寺南郵便局		33	戸倉工業 株式会社	
7	国分寺泉郵便局	泉町	34	社会福祉法人 万葉の里 KOCO・ジャム	戸倉
8	アマネシ酒店		35	社会福祉法人 けやきの杜 希望園	
9	鳥芳		36	労働者協同組合ワーカーズコープ・センタ ー事業団(国分寺市立福祉センター)	
10	鉄板焼き 八七まる		37	多摩信用金庫 恋ヶ窪支店	
11	おだいに薬局 ハート店	東元町	38	国分寺市社会福祉協議会	日吉町
12	ボランティア活動センター こくぶんじ		39	Yショップ日吉店	
13	日産東京販売株式会社 国分寺店	西元町	40	国分寺内藤郵便局	内藤
14	季楽	本町	41	ナイトウ果樹園	
15	国分寺本町郵便局		42	国分寺富士本郵便局	富士本
16	三多摩医療生活協同組合 (国分寺診療所)		43	酒場 12(かずじ)	
17	イエノウエノカフェ		44	浜木綿	北町
18	多根果実店 ※令和8年4月 16 日まで		45	国立駅北口郵便局	光町
19	お料理と自家製米 祝い家		46	公益財団法人 鉄道総合技術研究所	
20	国分寺本多郵便局	本多	47	国分寺光郵便局	西町
21	行政書士 石井法務事務所		48	国分寺西町郵便局	
22	特別養護老人ホーム にしき苑	東恋ヶ窪	49	高島屋 原田酒店	高木町
23	国分寺東恋ヶ窪四郵便局		50	美容室 FRERE	並木町
24	東京むさし農業協同組合 国分寺支店				
25	東京むさし農業協同組合 国分寺ファーマーズ・マーケット				
26	有限会社 鈴木栄太郎商店				
27	いなげや 国分寺東恋ヶ窪店				

【自治会・町内会別 協力状況】

(単位 円)

自治会 番号	自治会・町内会名	社協会員会費	赤い羽根 共同募金	歳末たすけあい 地域福祉活動募金
1	東元町一丁目自治会	143,625	143,625	143,625
2	元町自治会	262,150	271,659	282,400
3	元町親交会	36,500	39,300	37,800
4	東急住宅自治会	10,000	8,000	12,000
7	西元町二丁目町会	10,000	5,000	5,000
8	黒鐘自治会	25,000	25,000	25,000
10	南町一丁目自治会	20,000	20,000	20,000
11	南町二丁目町会	50,000	55,000	55,000
13	南町三丁目花沢台町会	23,300	23,700	22,800
15	本町一・二丁目東町会	26,700	27,900	24,000
16	本町二丁目仲町会	15,000	15,000	15,000
17	本町二丁目北町会	26,000	19,000	20,500
18	本町三丁目東町会	12,500	16,500	—
19	本町三四自治会	30,000	—	—
20	本町四丁目町会	30,000	—	30,000
22	本多一丁目東町内会	29,500	33,300	32,500
23	本多一丁目西町内会	16,900	20,000	20,000
25	本多二丁目町内会	36,800	43,150	38,300
26	本多三丁目南町内会	27,000	—	—
27	本多三丁目北町内会	60,800	73,310	70,500
28	本多四丁目東町内会	47,900	46,500	51,300
29	本多四丁目西町内会	69,500	73,500	75,500
30	本多五丁目東町内会	96,550	93,001	90,676
31	本多五丁目西町内会	20,000	39,700	58,200
32	ニュー国分寺ハイツ自治会	10,000	8,000	8,000
34	泉町大和会	20,000	10,000	20,000
35	東松風園東一組	10,000	5,000	5,000
36	東松風園中一組	8,000	7,500	3,900
38	東松風園西一組	3,000	—	—
41	押切間和光会	5,000	5,000	5,000
42	若松会	14,000	8,400	8,400
43	泉町親交会	—	10,000	10,000
46	泉町西自治会	3,000	10,000	10,000
48	泉町三丁目親和会	21,900	26,100	25,600
49	さつき会	9,000	9,500	10,000
50	泉町三丁目いずみ自治会	2,000	3,520	8,000

(単位 円)

自治会 番号	自治会・町内会名	社協会員会費	赤い羽根 共同募金	歳末たすけあい 地域福祉活動募金
56	東恋ヶ窪三丁目自治会	10,000	10,000	10,000
57	東恋ヶ窪四丁目自治会	39,700	93,270	74,300
59	東恋ヶ窪六丁目自治会	43,000	44,300	47,050
60	泉山自治会	10,000	10,000	10,000
61	西国分寺北口自治会	10,000	10,000	10,000
62	西恋ヶ窪一丁目自治会	10,000	10,000	10,000
63	西恋ヶ窪二丁目自治会	20,000	20,000	20,000
64	西恋ヶ窪三丁目自治会	27,403	26,151	—
65	西恋ヶ窪四丁目自治会	46,500	52,400	59,850
67	武蔵台自治会	3,000	—	—
68	日吉町新和会	10,000	5,000	5,000
70	日吉町二丁目自治会	13,300	21,100	36,800
71	内藤自治会	50,000	50,000	330,970
73	内藤睦会	20,000	20,000	20,000
75	内藤みどり会	3,000	5,000	5,100
76	内藤二丁目自治会	14,000	—	—
77	内藤一丁目第3都営アパート自治会	3,500	—	—
79	戸倉自治会	544,200	100,000	633,100
83	岸自治会	—	5,000	—
84	西の原自治会	43,500	—	10,000
86	富士本一丁目互助自治会	1,500	—	—
88	富士本一丁目自治会	—	—	20,000
89	富士本二丁目自治会	10,000	15,000	15,000
90	富士本三丁目自治会	29,400	29,900	—
93	JR光町アパート自治会	5,000	5,000	5,000
94	光町南部自治会	100,000	—	100,000
95	光町北部自治会	30,000	30,000	30,000
96	みやま会	—	3,300	—
98	西町友和会	3,000	3,000	—
101	くぬぎ会	3,000	3,000	3,000
102	中藤南会	3,000	5,000	10,000
104	国立団地協議会	8,000	8,000	8,000
105	若草会	10,000	5,000	10,000
107	三中裏自治会	2,500	2,500	2,500
108	けやき台分譲団地管理組合	17,000	16,500	29,000
109	西町弁天町内会	50,000	20,000	119,100

(単位 円)

自治会 番号	自治会・町内会名	社協会員会費	赤い羽根 共同募金	歳末たすけあい 地域福祉活動募金
110	西町中藤町会	128,900	30,000	144,700
111	都営国分寺西町五丁目アパート	—	15,300	—
112	西町さくら会	—	2,900	3,200
113	高木町自治会	70,000	50,000	198,100
118	新町はづき自治会	14,000	10,000	10,000
120	共益新町自治会	37,800	—	—
121	新町3丁目自治会	—	30,000	30,000
122	新町3丁目親睦会	30,000	24,300	24,000
123	鷹の台団地国分寺自治会	5,000	5,000	—
126	並木町二丁目さつき会	3,000	3,000	10,500
127	並木町三丁目西部自治会	20,000	10,000	—
134	ぶんじ寮じちかい	3,000	—	—
合 計		2,736,828	2,004,086	3,298,271
協力団体件数		77件	71件	66件

お互いに変え合い 助け合う国分寺をめざして

つなげり ささえあう みんなの地域づくり

令和7年度

歳末たすけあい

地域福祉活動募金

実施期間
12月1日～31日



この作図は「社会福祉法人、市民の会、地域福祉推進センター」が
協賛 東京都により作成された

～多謝せいただいた募金は国分寺市の地域福祉活動に役立てられます～

実施主体：社会福祉法人 国分寺市社会福祉協議会
国分寺市戸倉4-14 福祉センター内 TEL:042-324-8311
主催：社会福祉法人 東京都共同募金会
後援：国分寺市



【歳末たすけあい・地域福祉活動募金実績】

募金種別	団体名等(順不同・敬称略)	金額(円)
戸別募金	自治会・町内会(66団体)	3,298,271
	小計 ①	3,298,271
職域・ 団体募金	国分寺市老人クラブ連合会(19団体)	78,633
	国分寺市民生委員・児童委員協議会	44,000
	東京国分寺ロータリークラブ	36,000
	東京武蔵国分寺ロータリークラブ	28,000
	東京国分寺ライオンズクラブ	8,000
	国際ソロプチミスト国分寺	10,000
	国分寺市役所職員	70,080
	国分寺市商工会	5,000
	学校法人 国際文化学園	40,000
	有限会社 さやか企画	10,000
	有限会社 ヤマコオ	10,000
	妙法寺	10,000
	戸倉工業 株式会社	10,000
	公益財団法人 鉄道総合技術研究所	10,000
	多摩信用金庫 国分寺支店	5,000
	東京むさし農業協同組合 国分寺支店	5,000
	特定非営利活動法人 あおぞら	10,000
	株式会社 佐藤総研	10,000
	季楽	2,000
	ボランティア活動センターこくぶんじ登録団体・サロン	
	国分寺難病の会	2,000
	傾聴ボランティアグループかたらい	3,000
	特定非営利活動法人 成年後見ウィル	2,000
	国分寺市北町地域センター利用者協議会	6,221
	一般社団法人 日本スポーツウェルネス吹矢協会 国分寺中央支部	6,345
	特定非営利活動法人 ひょうたん島	7,402
	マジックサークル木曜会	5,000
	国分寺語りの会	2,000
	防災まちづくり27会	2,000
	国分寺赤米会	1,000
	みんなで歩こう会	5,000
	国分寺生きがいクラブ東南会	5,000
	募金箱設置にご協力いただいた市内企業・団体等	
	市内関係団体・企業・店舗等	
	白木建設 株式会社	17,186
	株式会社 日立製作所 中央研究所	1,919
	鉄道情報システム株式会社	3,863
	国分寺市商工会	1,608
	公益社団法人 国分寺市シルバー人材センター	2,076
	国分寺市勤労者福祉サービスセンター	1,262
	国分寺市国際協会	
	リオン 株式会社	1,933
	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	

募金種別	団体名等(順不同・敬称略)	金額(円)
職域・ 団体募金	一般社団法人 国分寺青年会議所 居酒屋よっちゃん／大衆鉄板 心 ちんぱんじー 国分寺／炭 火酒場 鶏眞／餃子Bar こゝろ／SAUCE UP BURGER	5,886
	一般社団法人 国分寺市薬剤師会	
	アイン薬局 西国分寺駅前店／ポラリス薬局／らいおん薬局 ／龍生堂薬局 国立店／わかば薬局／ウェルシア薬局 国分 寺北口店	4,969
	国分寺市商店会連合会	
	東元町商店会 クローバーペット クリニック／若松屋／コロツケの丸愛／ オザキホールディングス株式会社	4,131
	国分寺駅北口商店街 ローソン国分寺本町2丁目店／セブンイレブン国分寺本町 2丁目店／ケンタッキーフライドチキン国分寺店／ココカラ ファイン国分寺駅前通り店／讃岐うどん irico／タツミ建 設株式会社／清水開発株式会社／戸塚たばこ店	13,514
	むさし商興会 天章堂	1,110
	内藤橋通り商店会 Yショップ日吉店／コスメバーひまわり	1,603
	国分寺駅南口商店会 そば処 豊年屋／天松	2,985
	南栄商店会 hair mirai	1,938
	国分寺市社協理事・監事、評議員、協力員、職員	93,500
	小計 ②	608,164
街頭募金	ボランティア活動センターこくぶんじ登録団体／民生委員・児童委 員協議会／社協理事・監事、職員	38,621
	小計 ③	38,621
事務局受付	個人	37,500
	社協窓口募金箱	520
	その他(預金利子等)	597
	小計 ④	38,617
合計 ①+②+③+④		3,983,673

【翌年度使用地域福祉活動費(令和8年度使用分)への配分】

事業名	配分金額(円)
国分寺ふくし交流支援事業	600,000
ひとり暮らし等高齢者地域交流事業	100,000
ここねっと推進助成事業	700,000
市民への地域福祉情報提供事業	1,000,000
高齢者への支援事業	220,000
ボランティア活動推進事業	1,008,757
合 計	3,628,757

※令和7年度実績額 3,983,673 円 - 事務費 354,916 円 = 配分金額 3,628,757 円

【赤い羽根共同募金 地区募金実績】

募金種別	団体名等(順不同・敬称略)	金額(円)
戸別募金	自治会・町内会(71団体)	2,004,086
	小計 ①	2,004,086
職域・団体募金	国分寺市老人クラブ連合会(19団体)	53,244
	国分寺市民生委員・児童委員協議会	33,000
	東京国分寺ロータリークラブ	22,000
	東京武蔵国分寺ロータリークラブ	22,000
	東京国分寺ライオンズクラブ	8,000
	国際ソロプチミスト国分寺	10,000
	国分寺市役所職員	72,888
	国分寺市商工会	5,000
	白木建設 株式会社	10,000
	一般社団法人和耕会 萌ベビーホーム	10,000
	国分寺市身体障害者福祉協会	50,000
	社会福祉法人 千春会 千春第二保育園	2,370
	国分寺障害者団体連絡協議会(運動会時募金箱設置)	5,720
	国分寺難病の会	3,000
	特定非営利活動法人 成年後見ウィル	2,000
	一般社団法人 日本スポーツウェルネス吹矢協会 国分寺中央支部	6,850
	国分寺市寿奉仕団	1,000
	防災まちづくり27会	3,000
	国分寺赤米会	1,000
	緑と自然を育てる会	5,000
	国分寺市にふるさとをつくる会	3,000
	野川源流みどりの会	10,000
	募金箱設置にご協力いただいた福祉施設 ・ 社会福祉法人 万葉の里 ・ 社会福祉法人 東京聴覚障害者福祉事業協会 クラブかたつむり ・ 社会福祉法人 AnnBee ・ 社会福祉法人 はらからの家福祉会 ・ 特定非営利活動法人 国障連喫茶 ・ 特定非営利活動法人 Ohana ・ 一般社団法人 一粒福祉会 デイオアシスまほろば ・ 社会福祉法人 ななえの里 ともしび工房 ・ 社会福祉法人 けやきの杜 ・ 社会福祉法人 村山苑 ひよし保育園 ・ 労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	30,052
	市内小学校・中学校(12校) 生徒会・児童会・委員会による募金活動、募金箱	317,319
	社協理事・監事、評議員、協力員、職員	61,500
	小計 ②	747,943
街頭募金 (地区募金)	国分寺市学童少年軟式野球連盟	471,688
	国分寺地区協力会/地域配分受配団体/民生委員・児童委員協議会	95,847
	前年度地域配分受配団体(街頭募金欠席の4団体によるご協力)	15,152
	早稲田実業学校 生徒会	75,386
	小計 ③	658,073
事務局受付	個人	18,840
	PayPayによるご協力	13,240
	その他(預金利子等)	1,655
	小計 ④	33,735
合計 ①+②+③+④		3,443,837

【「地域配分(B配分)」(令和7年度申請・8年度使用)について】

＊配分先一覧

区分	施設・団体名	事業内容	配分金額(円)
障	国分寺障害者団体連絡協議会	笑いと歌の会・共生イベント開催事業	200,000
障	ひまわり号を走らせる 国分寺実行委員会	ひまわり号を走らせる事業 (貸切列車の日帰り旅行)	200,000
障	特定非営利活動法人 ひょうたん島	重症心身障がい児・者に対する理解を 深める事業(シャボン玉ショーの開催)	90,000
児 他	にわのいえ・もとまち	駐輪場の整備	200,000
高 障	一般社団法人一粒福社会 デリオアシスまほろば	備品整備(浄水器設置)	20,000
障	特定非営利活動法人 国分寺市手をつなぐ親の会 まあぶ	知的障がい者の社会見学 (アクアパーク品川)	120,000
障	社会福祉法人 はらからの家福社会 さつき共同作業所	備品整備(清掃作業用機材)	100,000
障	社会福祉法人 はらからの家福社会 地域生活支援センター プラッツ	映画鑑賞会における備品整備 (テレビ・ブルーレイプレイヤー)	70,000
障	特定非営利活動法人 国障連喫茶 地域活動支援センターほんだ・こだま	備品整備 (シルクアイス用抽出器2台)	150,000
障	国分寺市身体障害者福祉協会	日帰り研修旅行 (あしかがフラワーパーク)	200,000

＊本会が行う地域福祉活動事業への配分

事業名	配分金額(円)
社協の広報活動(社会福祉だより「ふくし」の発行等)	900,000

【「全都配分(A配分)」について】

区分	施設・団体名	事業内容
高	社会福祉法人 浴光会 あじさい苑	高齢者の安全・快適な入浴環境整備事業

〈対象区分〉 高:高齢者 障:障がい児・者 児:児童・青少年 他:その他



【令和7年度 社協会員会費 実績】

【福祉特別功労会員(100,000 円以上)】

(順不同)

東京国分寺ロータリークラブ 様、株式会社 丸福商事 様、有限会社 英 様、一般社団法人 国分寺市医師会 様、匿名(1名)

【法人会員・団体会員(10,000 円以上)】

(順不同)

■50,000 円以上

東京国分寺ライオンズクラブ 様、東京むさし農業協同組合 国分寺支店 様

■40,000 円以上

東京武蔵国分寺ロータリークラブ 様

■30,000 円以上

リオン 株式会社 様

■20,000 円以上

学校法人 東京経済大学 様

■10,000 円以上

特定非営利活動法人 あおぞら 様、社会福祉法人 AnnBee 様、有限会社 ヤマコオ 様、一般財団法人 国分寺市健康福祉サービス協会 様、学校法人 国際文化学園 様、戸倉工業 株式会社 様、社会福祉法人 はらからの家福祉会 様、株式会社 みずほ銀行 国分寺支店 様、社会福祉法人 けやきの杜 様、読売センター国分寺 恋ヶ窪 様、社会福祉法人 村山苑 ひよし保育園 様、一般社団法人 東京都国分寺市歯科医師会 様、妙法寺 様、社会福祉法人 万葉の里 様、タツミ建設 株式会社 様、国際ソロプチミスト国分寺 様、多摩信用金庫 国分寺支店 様、有限会社 井口葬儀店 様、北多摩東地区保護司会 国分寺分区 様、社会福祉法人 至誠学舎立川 至誠ホームミナ 様、特定非営利活動法人 国分寺市にふるさとをつくる会 様、有限会社 さやか企画 様、社会福祉法人 桑の実会 国分寺Jキッズステーション 様、一般社団法人 国分寺青年会議所 様、社会福祉法人 つくしんぼ共同保育会 様、労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団 様、飯沼電気 株式会社 様、鉄道情報システム 株式会社 様、特定非営利活動法人 Ohana 様、株式会社 佐藤総研 様、特定非営利活動法人 ひょうたん島 様、株式会社 シーズプレイス 様、一般社団法人 和耕会 萌ベビーホーム 様、Kサポート税理士事務所 様、社会福祉法人 浴光会 浴光保育園 様、公益財団法人 鉄道総合技術研究所 様、白木建設 株式会社 様、りんくる国分寺 様、リーベル 訪問看護ステーション 様

【法人会員・団体会員(3,000 円以上)】

(順不同)

社会福祉法人 千春会 千春第二保育園 様、社会福祉法人 ココロ学舎 ET 教室 様、手話サークル国分寺 様、労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団 KWC 福祉事業所 すてっぷ 様、医療法人社団 美誠会 様、かたぐるまの会 様、緑と自然を育てる会 様、特定非営利活動法人 日本セラピスト普及協会 様、国分寺あゆみ会 様、特定非営利活動法人 東京多摩いのちの電話 様、一般社団法人 日本スポーツウエルネス吹矢協会 国分寺中央支部 様、国分寺難病の会 様、一般社団法人(非営利型) 小さな森Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 様、拡大写本こくぶんじ 様、国分寺市西町プラザ利用者協議会 様、国分寺市寿奉仕団 様、音訳グループ やまばと 様、地域つながり協力隊 様、特定非営利活動法人 成年後見ウィル 様、筆跡カウンセラー協会 様、国分寺市青少年育成北地区委員会 様、鶏眞ボランティアの会 様、国分寺の不登校を考える会 様、並木町防災準備会 様、内藤神社 日吉会 様、こくフェス実行委員会 様、地域づくりをすすめる会 様、おひさまてらす 様、なみきのね 様、国分寺障害者団体連絡協議会 様、国分寺市立第三小学校PTA本部 様、本多すずらん商店会 様

【老人クラブ(3,000 円以上)】

(順不同)

南寿会 様、本多三北交友会 様、友愛会 様、光寿会 様、共益長寿会 様、共益東長寿会 様、西町百寿会 様、あけぼの会 様、高木長寿会 様、本多新西寿楽会 様、本多南寿楽会 様、北の原厚生会 様、中戸倉長生会 様

【令和7年度 会員加入状況】

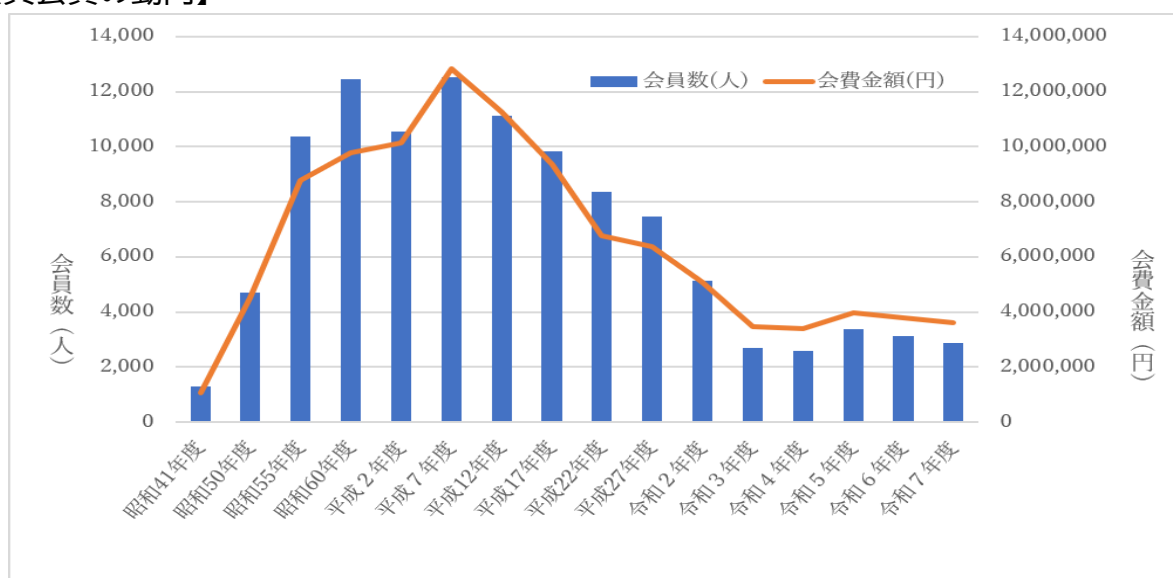
会員区分	実績			
	会員数(人)	前年比(人)	会費金額(円)	前年比(円)
個人会員	2,101	△172	1,056,500	△87,400
個人賛助会員	648	△74	715,100	△93,100
個人特別会員	41	1	265,000	△5,000
団体会員	43	8	246,500	△1,800
法人会員	48	△1	497,000	△7,000
福祉特別功労会員	5	0	820,000	15,000
計	2,886	△238	3,600,100	△179,300

寄付者	8,766	△409	1,034,728	△64,056
合計	11,652	△647	4,634,828	△243,356

【年度別会員数および会費状況】

年度	会員数(人)	会費金額(円)	比較増減(円)
昭和41年度	1,305	1,063,300	
昭和50年度	4,687	4,501,030	2,130,280 / 5年
昭和55年度	10,365	8,778,079	4,277,049 / 5年
昭和60年度	12,466	9,768,098	990,019 / 5年
平成2年度	10,561	10,141,179	373,081 / 5年
平成7年度	12,535	12,824,370	2,683,191 / 5年
平成12年度	11,128	11,261,396	△1,562,974 / 5年
平成17年度	9,821	9,339,751	△1,921,645 / 5年
平成22年度	8,354	6,765,175	△2,574,576 / 5年
平成27年度	7,462	6,361,474	△403,701 / 5年
令和2年度	5,144	5,096,877	△1,264,597 / 5年
令和3年度	2,688	3,482,201	△670,549
令和4年度	2,575	3,398,500	△83,701
令和5年度	3,381	3,967,100	568,600
令和6年度	3,124	3,779,400	△187,700
令和7年度	2,886	3,600,100	△179,300

【会員会費の動向】



(コラム「令和7年度の総括 まとめ」)

- 令和7年度も「お互いに支え合い 助け合う国分寺をめざして」を基本とし、住民の皆様・関係機関、行政と連携を密にした地域福祉の推進に取り組みました。
- 法人運営では、本会の運営を担う重要な役職の「評議員(任期4年)」および「役員(任期2年)」の任期満了に伴い改選が行われ、本会定款および法令に沿って適切に組織運営を行いました。
- 事務局体制では、6月末に正規職員2名が退職し、欠員の期間が続きましたが、職員の総力により支援体制や市民サービスを落とすことのないような体制を再構築し、対応してきました。
- 事業運営では、社協法人事務所および権利擁護センター(日吉町)に分散していた「地域福祉課」が、令和7年5月にいずみプラザ1階に移転し、相談体制が集約されました。相談窓口が1か所に集約されたことにより、総合的なサポート体制が構築されました。
- 本会の拠点は、福祉センターに「社協法人事務所(総務担当、貸付担当)」、東元町に「ボランティア活動センター」、そして「いずみプラザ」と本会の機能は分散されていますが、生活困窮者等を対象とした「生活応援事業」では、ボランティア活動センターによる食品の無料配付と自立支援担当による「暮らしの相談」を協働で開催、コロナ特例貸付のフォローアップ事業では、貸付担当と自立支援担当で戸別訪問の実施、また、地域福祉コーディネーター担当による「福祉の総合相談窓口」では、出張窓口を設置し、相談員として自立支援担当・権利擁護担当も加わり、社協の総合力を結集し、より身近な場所で多岐にわたる複雑化・多様化した相談を受け止め、相談者に寄り添い包括的な相談支援が実施できました。
- 今後の課題として、財政面において、持続可能な法人運営に必要な不可欠な会費・寄付金をはじめとする自主財源の減少は否めず、対応策の検討が急務となっています。本会の取り組みを可視化し、地域の皆様に本会の意義や役割を改めてご理解いただき、ご協力を得られる努力・工夫をしていくことが必要と考えています。また、令和 11 年1月に旧庁舎跡地に整備される「複合公共施設」に福祉センター機能が集約される予定です。しかしながら、本会の法人事務所はその計画に入っておらず、福祉センター(建物)の今後の利活用についても、現段階で見通しが立っていない状況です。法人事務所の確保は、持続可能な運営の鍵でもあり、最重要課題として捉えています。早急に対策を講じ、事態の解決に向けて努めてまいります。



【いずみプラザ】



【法人本部】



【ボランティア活動センター】

